

SAGA 2024

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

SAGA2024 から、国体の愛称で親しまれてきた「国民体育大会」が「国民スポーツ大会」へ変わります。大会の名称が変わるはじまりの地に選ばれた佐賀県は、すべての人にスポーツのチカラを届ける新しい大会を目指し、さまざまな取り組みにチャレンジします。

リアルアスリート・ピクトプロジェクト

新しい「国民」の「スポーツ」大会だから、みんなで作りたい。そんな思いを込めて制作したピクトグラム。すべて実在するアスリートのシルエットが元になっています。



10/5 (土)
SAGAスタジアム

佐賀県佐賀市日の出2丁目1-10



10/15 (火)
SAGAアリーナ

佐賀県佐賀市日の出2丁目1-10



(公財)日本スポーツ協会(JSPO)は、「スポーツは、もっとオモシロイ。」を掲げ、スポーツが誰にとってもオモシロくなり、幅広い世代でスポーツが身近にある社会の実現を目指す『JAPAN GAMES』構想を推進。JSPOと佐賀県は、連携・協働してスポーツの新たな価値を創造します。

大会HP詳しくはこちら

SAGA 2024



目 次

あいさつ	(公財)日本スポーツ協会 会長	遠藤 利明	1
	文部科学大臣	盛山 正仁	1
	(公社)日本フェンシング協会 会長	千田 健一	2
歓迎のこたば	SAGA2024実行委員会 会長		
	佐賀県知事	山口 祥義	2
	SAGA2024佐賀市実行委員会 会長		
	佐賀市長	坂井 英隆	3
	(一社)佐賀県フェンシング協会 会長	中野 武志	3
国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程			4
国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程			4
大会役員			5
競技会役員			8
競技役員			9
競技補助員、競技会係員、競技会補助員			10
総則			11
フェンシング競技実施要項			30
表彰式次第			35
競技日程			36
アップ場練習場開設時間			41
第78回国民スポーツ大会フェンシング競技について			42
フェンシング競技組合せ表(フルーレ)			53
フェンシング競技組合せ表(エペ)			59
フェンシング競技組合せ表(サーブル)			62
フェンシング用語			63
審判員のジェスチャーと号令			65
都道府県別参加人数一覧表			67
参加監督・選手一覧表			68
総合成績決定方法・表彰			70
栄光の記録 国民体育大会年次別成績表一覧			71
関係機関 連絡先一覧			73
会場内図・会場周辺図			74

あいさつ



公益財団法人 日本スポーツ協会
会長 遠藤利明

国の特別史跡に指定されている「吉野ヶ里遺跡」をはじめとする重要文化財や、ユネスコ無形文化遺産に登録された「唐津くんち」などの伝統的行事が根付く、ここ佐賀県において第78回国民スポーツ大会が開催されますことは、誠に嬉しい限りであります。

スポーツを通じた明るく豊かな国づくりを目指して昭和21（1946）年からスタートした国民体育大会は、今日まで多くの関係者のたゆまぬ努力と情熱に支えられ、我が国最大のスポーツの祭典として発展を遂げ、本年から「国民スポーツ大会」へと名称を変え、新たなスタートを切ります。

今大会は、幅広い世代の人々が、スポーツが身近にある生活を体験出来る社会の実現を目指した「JAPAN GAMES」の取組を本格化し、すべての人に「スポーツの力」を届けることができる大会を目指しております。

スポーツを「する」人、「みる」人、「ささえる」人、すべての方々がスポーツのオモシロさを体現し、スポーツで日本を元気にする大会となることを願っております。

さて、国民スポーツ大会を巡っては、今後の在り方に関して様々なご意見が寄せられておりますが、より魅力ある持続可能な大会とするため、幅広い分野の皆様に参加いただいた有識者会議を設置しております。

今後、検討を進めるに当たっては、今回の佐賀大会における「JAPAN GAMES」をはじめとする新たな取組の成果も充分活かしていきたいと考えております。

今大会は、当初から1年遅れての開催となりましたが、佐賀県の関係者の皆様をはじめ、開催を控えていた各県の皆様方のご協力なくしては実現できなかったものであり、改めてお礼申し上げます。

結びに、今大会の開催にあたり、長年諸準備にご尽力いただきました、地元佐賀県をはじめ関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。

あいさつ



文部科学大臣
盛山正仁

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ佐賀県において第78回国民スポーツ大会「SAGA2024国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

佐賀県は玄界灘、有明海という多くの恵みをもたらす2つの海に面し、広大な佐賀平野やラムサール条約湿地に登録された「東よか干潟」「肥前鹿島干潟」等豊かな自然の魅力にあふれ、国の特別史跡である「吉野ヶ里遺跡」や400年以上の歴史を誇る「有田焼」を有する等、歴史と文化が息づく県です。

昭和51年の若楠国体以来48年ぶりの佐賀県での開催となり、「新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。」をメインメッセージに、エンタメ性の高い式典、ナイトゲームの開催、スポーツホスピタリティ等、スポーツの可能性を追求する「新しい」取組に挑戦し、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

また、トップアスリートの育成を通じ、県民がスポーツを「する」「育てる」「観る」「支える」「稼ぐ」というスポーツ文化の裾野拡大を目指し、スポーツのチカラを生かした人づくり、地域づくりを進める「SAGAスポーツピラミッド構想」という「新しい」仕組みも広がっています。国民体育大会から国民スポーツ大会への名称変更後初めての開催にふさわしい、今後のモデルケースとなる魅力的ですばらしい取組となっております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や佐賀県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

本年はパリオリンピック・パラリンピック競技大会が開催され日本代表選手が大活躍し、国民のスポーツへの関心はますます高まっています。

文部科学省としましても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「SAGA2024国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元佐賀県、会場となる各市町をはじめとする関係の皆様への御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶いたします。

令和6年7月29日

あいさつ



公益社団法人 日本フェンシング協会
会長 千田 健一

豊かな歴史と文化、自然美があふれる佐賀県において、SAGA2024国民スポーツ大会フェンシング競技会が盛大に開催されますこと、日本フェンシング協会を代表しお慶び申し上げます。

この大会は従来開催されてきた国民体育大会から国民スポーツ大会に生まれ変わる初めての大会となります。これまでの体育からスポーツに生まれ変わることにより、すべての人にスポーツの力を届け、新たなスポーツ文化の新時代を創設するという願いのこもった大会となります。大会名称は変わっても、スポーツの魅力である「する 観る 支える」という3つの役割は不変であり、大会を通じて選手たちの熱い戦いが、スポーツの力で国民への勇気と元気を届けてくれるものと確信しております。

先般フランスパリで開催された夏季オリンピック大会において日本代表選手たちは素晴らしい活躍により多くのメダルを獲得いたしました。もはや日本の競技力は世界のトップに君臨する実力と世界各国からも高い評価をいただいております。今大会においても世界のトップクラスの技と力による熱い戦いが繰り広げられるものと大いに期待するとともに、観衆及び応援の皆様には、是非フェンシングの魅力をご堪能いただければ幸いです。

結びに今大会開催にあたり、長期間にわたり準備にご労苦をいただきました佐賀県・佐賀市、そして佐賀県フェンシング協会の皆様、ご尽力いただきました関係するすべての皆様に対して心から感謝申し上げますとともに、この大会の成功と佐賀県の発展並びに選手諸君のご健闘をご祈念申し上げごあいさつといたします。

歓迎のことば



SAGA2024実行委員会会長
佐賀県知事 山口 祥義

「すべての人に、スポーツのチカラを。」新しい大会へようこそ。
感動する。魂が揺さぶられる。年齢や国境を超えて、人と人がつながる。心身ともに健やかになる。スポーツには、人間の根源的な喜びを生み出すチカラがあります。こうしたスポーツの真の価値を大切にする佐賀県では、「SAGAスポーツビラミッド（SSP）構想」と銘打ち、アスリートの人生にコミットした人材育成、セカンドキャリア支援やスポーツビジネスの創出を進めて、アスリートが現役時代も引退後も、キャリアを活かして輝き続けることができる社会の実現を目指してきました。

その中で開催する「SAGA2024」は、スポーツ新時代を多くの方に実感できる大会として、日本に世界標準のスポーツ文化が根付く転機となると確信しています。

「SAGA2024」フェンシング競技会、いよいよスタートです。令和2年、SAGAサンライズパークフェンシング場は全国で初めてJOCフェンシング競技強化センターに認定されました。その後は、日本代表合宿やエペジャパンランキングマッチも行われています。佐賀県と日本フェンシング協会はさらに連携を深めて、多くの方にフェンシングの素晴らしさが伝わるよう協力していきます。

「SAGA2024」は”国体”から”国スポ”へと変わる大会です。競技会では、選手個人にスポットを当てた表彰制度やメダルの授与、ナイトゲームや動画配信により選手の活躍を称え、熱戦をより多くの方に届けます。式典でも新たな演出に取り組みます。総合開会式の自由で楽しさあふれる選手団入場、音と光、映像を最大限に活かした総合開会式など、大会に関わるすべての人と感動を分かち合います。選手の皆様には、日々の練習に打ち込んできた情熱と、磨き上げてきた技を、この舞台上で披露していただければ、これ以上の喜びはありません。

佐賀県は、「弥生時代の吉野ヶ里遺跡」、「日本文化が花開いた肥前名護屋城」、「明治維新の礎を築いた偉人の輩出」と三回にわたり日本史転換の舞台となりました。これは「挑戦なくして、伝統なし」のマインドがこの地で培われているからだと考えます。有田焼、佐賀牛、佐賀酒といった文化・食材が世界で高い評価を受けていることもその証です。スポーツの世界も例外ではありません。佐賀県は、先人達の積み重ねに想いを馳せながら、新たな挑戦を続けていきます。

スポーツ新時代の幕が上がる、その瞬間を一緒に体感できることを嬉しく思うとともに、開催にあたり、多大な御支援と御協力を賜りました関係者の皆様へ心から感謝を申し上げ、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

SAGA2024佐賀市実行委員会会長
佐賀市長 坂井英隆

「SAGA2024」フェンシング競技会を、佐賀市で開催できますことを大変嬉しく思います。また、全国各地からお越しいただく選手・監督、関係者の皆様、ようこそ佐賀へ。佐賀市民を代表して心から歓迎いたします。

「SAGA2024」は、戦後78年続いた「国民体育大会」から「国民スポーツ大会」へと生まれ変わる最初の大会です。「体育」から「スポーツ」へと名称が変わるだけでなく、すべての人に、スポーツのチカラを感じていただけるよう、これまでの大会にはなかった新たな取り組みで皆様をお迎えします。

全競技を対象に実況を交えた動画配信を行うほか、サンライズパークに隣接する佐賀市文化会館を会場とする「全天候型おもてなし広場」では、本市開催競技やバーチャルスポーツを体験できるコーナーを設けます。さらに、佐賀市民を挙げた「応援によるおもてなし」や、ナイトゲームの開催など、競技を「する」選手だけでなく、「みる」、「ささえる」の様々な形で参加いただく市民や来場者にとって、「スポーツの魅力」や「スポーツの力」を実感できる大会にしたいと思っています。

佐賀市には、日本を牽引してきた賢人たちの功績を今に伝える、世界遺産「三重津海軍所跡」や、「佐賀城本丸歴史館」などの歴史・文化遺産が多く残っています。また、食も豊かで、最長となる14年連続で「特A」評価を獲得しているブランド米「さがびより」をはじめ、ブランド牛の「佐賀牛」、有明海で育てられた芳醇な旨みの「佐賀海苔」、人気の日本酒など、全国的にも高い評価をいただいております。滞在中には、ぜひ、佐賀の多彩な魅力を体感いただければ幸いです。

本大会の開催に多大なるご支援、ご協力をいただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、ご参加の皆様のご活躍を心から祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

一般社団法人 佐賀県フェンシング協会
会長 中野武志

SAGA2024国民スポーツ大会フェンシング競技会の開催にあたり、全国各地より厳しい戦いを勝ち抜き、今大会への出場を果たされた選手・監督はじめ大会関係者の皆さまを佐賀県佐賀市にお迎えすることが出来ますことは、私どもにとりまして大きな喜びであり、関係者一同心より歓迎申し上げます。ようこそ「葉隠の里」佐賀市にお越しく下さいました。

78回に渡って継承されてきた「国民体育大会」は本大会から「国民スポーツ大会」と名称が変わって初めての大会となります。本大会の開催にあたり佐賀県、佐賀市、佐賀県フェンシング協会が連携し、長い時間をかけて準備を進めて参りました。選手の皆さまには、郷土代表としての名誉と栄冠をかけて今までの練習成果を遺憾なく発揮していただきますとともに、各県同士の交流を深められる実り多き大会となることを大いに期待しております。

結びに、本大会の開催にあたり多大なるご支援・ご協力を賜りました公益社団法人日本フェンシング協会、佐賀県、佐賀市の関係各位をはじめ、大会役員、スタッフの皆さまなど多くの皆さまに感謝申し上げますとともに、本大会のご成功とフェンシング競技の益々のご発展、ならびに選手はじめ関係者皆さまのご健勝、ご多幸をご祈念申し上げ、歓迎のことばとさせていただきます。



天皇杯

皇后杯

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程

- 第1条** 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第1位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第1位の都道府県に授与する。
- 2 第1位が2都道府県以上の場合、当該都道府県で共有する。
- 第2条** 天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。
- 第3条** 天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。
- (1) 信託会社又は確実な金庫に保管する。
 - (2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。
 - (3) 公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。
- 第4条** 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程



大会会長トロフィー

- 第1条** 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー（以下「大会会長トロフィー」という。）は、正式競技別男女総合成績第1位の都道府県に授与する。
- 2 第1位が2都道府県以上の場合、当該都道府県で共有する。
- 第2条** 大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。
- 第3条** 大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。
- (1) 責任をもって保管する。
 - (2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。
 - (3) 優勝の刻印を次回大会までに行うものとする。ただし、第1条第2項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。
 - (4) 公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。
- 第4条** 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

大会役員

(順不同・敬称略)

名	誉	会	長	盛	山	正	仁		坂	元	要	益	子	直	美	森	岡	裕	策	
会			長	遠	藤	利	明		山	口	義	安	西	孝	之	岡	崎	助	一	
副			長	越	川	広	均		森	祥	朗	岩	田	史	昭	池	田	め	ぐ	
顧			問	室	伏	雅	治		山	善	浩	上	島	しの	ぶ	鹿	島	丈	博	
				伊	藤	敬	俊		今	千	信	刈	谷	好	孝	工	藤	保	子	
				大	野	純	三		角	憲	正	高	野	瑞	洋	田	畑	綾	美	
				今	井		子		高	志	保	坂	東	美	紀	松	井	守	裕	
				勝	田	富	隆		東	義	人	山	倉	紀	子	山	下	泰	之	
				國	吉	美	量		室	由	佳	森	井	じゅん	等	室	城	登	志	
				靈	池	恵	美		藤	裕	司	若	月	義	男	土	橋	有	紀	
				丸	山	由	代		湯	和	之	坂	卷	尚	子	鬼	頭	恒	雄	
				草	野	満	澄		石	伸	男	齋	木	寛	仁	多	賀	絵	美	
				金	子	日出	国		吉	長	寿	湧	永	里	宏	上	原	和	文	
				石	丸	洋	子		上	丈	太	山	口	壯	也	南	本	友	章	
				長	川	健	淳		馬	美	香	中	村	恒	彦	岡	田	伸	実	
				安	藤	美	津		千	健	一	田	口	徹	正	蒔	中	博	美	
				佐	永	寿	淳		加	出	昇	山	野	保	己	田	石	博	成	
				宮	野	津	洋		眞	弘	太郎	市	部	和	彦	丸	谷	正	夫	
				大	崎	淳	衛		建	太郎	一	谷	藤	重	二	木	池	和	之	
				山	田	洋	子		齋	久	剛	近	野	賢	おる	園	山	弘	央	
				村	村	衛	弘		今	資	文	小	念	か	恵	出	口	晃	子	
				中	上	子	美		古	政	久	知	川	お	明	上	杉	陽	信	
				井	澤	弘	行人		衣	直	一	前	島	恵	佳	大	沢	雅	昌	
				大	山	美	彦		城	幸	夫	生	葉	明	昭	奥	山	昌	二	
				中	邊	行	彦		茂	知	一	千	松	仁	平	田	子	不	夫	
				田	村	彦	哉		熊	成	雄	石	見	平	樹	田	中	智	浩	
				布	藤	哉	美		藤	博	伯	塩	村	秀	実	松	本	繁	三	
				谷	本	美	仁		山	則	彦	中	永	秀	晃	高	橋	誠	治	
				穂	保	仁	博		今	和	洋	福	嶋	秀	一	山	本	英	三	
				久	出	博	子		南	一	希	中	田	祐	泰	横	尾	浩	敏	
				井	山	幸	幸		増	祐	彦	奥	村	章	子	渡	邊	英	蔵	
				河	口	幸	稔		船	勝	成	河	木	秀	治	城	戸	浩	樹	
				松	本	稔	格		小	幸	弘	青	木	朝	子	宮	成	正	隆	
				近	藤	格	朗		馬	隆	子	辛	良	廣	一	藤	原	久	美	
				田	中	朗	司		小	妙	夫	平	藤	幸	子	奈	林	宗	一郎	
				旗	生	司	孝		岩	純	真	佐	藤	俊	一	小	枝	和	彦	
				藤	本	孝	子		川	伸	一郎	菊	べ	章	夫	今	野	大	地	
				大	嘉	子	明		宇	成	一	あ	原	東	貢	矢	木	和	泰	
				河	正	明	三		津	健	弘	藤	縣	直	一	鈴	須	裕	子	
				菅	穎	信	明		木	俊	益	尾	田	良	志	三	屋	裕	文	
				澤	正	明			口	益		坂	岡		治	金	丸	恭		
				田	幸				江			藤								
				嶋	貞				門			砂								
				田	英				西											
				内					合											
				富					場											

橋中網世久石達大熊新阿向齋丸柿大塩大江里橋武江青桃下猪藤古石牟荒末深中西平谷秀山岩川加森宮野森平能	本村代耕保井増井川谷田部井藤山内石田串場口場藤口木崎田村木川倉田木次草村保川島本田原藤丘野口岡野村	聖真忠弘素良拓和俊八守弘元達慎賢康博芳秀明善一祐利卓裕秀清康光直幸政史光保欣友貴	子一宏成子之也彦人朗一光彦也市吾一志博次健美紀功介寛子一郎紀郷敬薫裕明人敏雄司寛浩昭貴国典也里之了卓	安三土笹北加鶴福山馳田河池越楨甲玉古甲田大木古木酒野石池宮定加長陣竹峰川松吉小日菅松守樋加高栗	道宅田川川藤田本田口本田宗田斐城川斐島杉原賀村井田丸田原松藤村内田寄田田松比原田屋口藤橋原	光雅勝有富義英誠孝隆直健住奉陽雄幸勝太正真一雅順芳敬英和彰謙一郎朗子保彦和一崇	二豊人堯薰信司一博浩隆典也昌實博一康美一子文三一盛人郎恭一生子也博道郎正孝友政	河村丸番岩荒吉遠岡杉中西岸苺大麻原福奥山西徳中富指岡土石古落飯愛野廣園志大山宮コーコ松辻出小吉細	田井匠城川村藤田本谷脇本田塚生口岡田口保光本田山口井井賀合盛野田重田田竹口原ゼツターランド	正誠一郎英生子司浩治二俊平英男直博磨雄展克孝一樹範文行夫浩二彦興亮博郎典治重	也満一郎幸光裕美祐伸達多加隆周知岩益一資律弘清正幸清重敏秀和裕清時昭耕正義七	千松福不清柏北大花高大牧林村服春岩山井留藤一ノ田中弘坂八原南飯岩吉吉大南牛内二ケ廣宇塚松小	丸田老野木村野角野村野岡部山田下上守崎瀬中村川口谷田里盛瀬松田島里島田宮田野原本泉	玄喜達安清元英秀明昭嗣誠太豪和雄伸茂輝裕秀圭貴祐克寿裕豊幸信玲英伸智礼暢弘康芳	室郎夫正智司士裕世剛章次男政太郎志親平一幸樹子和一紀樹幸雄隆介美宏聖之子人也浩一実武幸夫孝
---	---	--	--	---	---	---	---	--	---	--	--	---	---	---	---

与

長長員

員

員

員委

委務

参

委副総

委

久間	裕司	品田	奧義	濱野	勉	寺澤	淳
黒川	男	舟喜	生二	高宮	修	中梶	則
安藤	美	加藤	潔之	岡西	輔	鈴木	広
川口	巖	和岸	生吾	衛山	茂	田菅	祐
平橋	治	長鈴	三男	越中	司	渡井	幸
高三	昇	中東	子映	杉田	徹	吉川	雄
関杉	子	品小	司樹	田富	也	川小	亘
金政	裕	河原	幸巳	田鈴	紀幸	小吉	三
宇高	大	西松	紀一郎	坂金	大博	宮鈴	太
見山	平	大神	孝哲	高矢	規久	高岩	宏
小新	樹	深江	久也	兒松	香樹	金井	元
近西	一	大江	幸宏	木田	也	藤高	忠
宮山	暢	井田	人男	伊三	將	渡青	清
渡松	彰	田辻	博彦	佐遠	郎	中横	史
徳菅	典	濱宮	二帆	細武	生二	千竹	人行
菅北	聖	庄北	也	田部	哉司	木住	司
今荒	之	山北	幸宏	嘉敷	司己	綾川	二
木塚	司	西遠	人男	戸	門之		夫
保真	良	藤	博彦		要		成
	信	村	二帆				和
	晃	崎	彰				也
	樹	村					和
	廣	村					彦
	治	村					也
	博	藤					惠
	美						

競 技 会 役 員

(順不同・敬称略)

名	譽	会	長	坂	井	英	隆		飯	田	徳	光	釜	谷	理	恵	林	正	博	
大	会	副	長	千	田	健	一		鶴	田	光	久	山	本	耕	司	小	澤	嗣	央
大	会	副	長	小	野	寺	利		織	田		毅	山	本	秀	雄	永	岡	訓	二
顧			問	中	野	武	志		井	原		功	山	瀬	康	夫	三	宅	修	一
				張	子		誠		星	野	文	敏	廣	口	弘	展	丹	宗	成	一
				中	島	厚	寛		大	澤	男	子	山	田	佳	典	江	口	善	己
			与	下	野	謹	也		中	島	妙	嵩	藤	崎	健	二	御	厨	洋	行
				松	永	幹	哉		稻	葉	新	子	川	永	明	美	久	米	勝	也
参				諸	富	八	千		江	原	岡	卓	富	松	永	憲	山	田	誠	一
				西	岡	真	一		村	岡		孝	宮	崎	弘	美	川	副	龍	之
				中	村	宏	志		永	原	史	嘉	江	頭	裕	明	千	綿	正	明
				実	松	尊	信		平	井	章	司	川	原	利	人	重	田	明	彦
				重	松		徹		福	中	宣	明	黒	田	和	義	山	尾	知	信
				堤	野	茂	康		野	岡	義	美	山	田	久	三	古	賀	一	善
				中	村	弘	和		西	崎	美	元	武	富	将	志	宮	崎	圭	輔
				嘉	飼	由	美		長	井	宏	子	江	頭	聖	人	筒	井	竜	子
				鳥	木	宏	郎		坂	又	留	美	大	久	保	久	寺	田	千	和
				鈴	副	光	行		稻	森	賢	一	姉	川	陽	一	大	澤	島	安
				川	片	明	子		森	大	正	毅	大	中	文	孝	三	末	尾	啓
				片	大	明	浩		大	関	一	豊	香	川	芳	博	竹	尾	健	二
				大	吉	次	司		北	村	裕	文	陣	内	正	郎	小	山	下	雄
				吉	本	村	也		井	村	正	信	松	野	武	志	野	原	敏	朗
				高	山	木	已		本	村	欣	吾	中	野	茂	裕	原	斎	秀	彰
				池	上	寿	伸		坂	井	釀	治	留	守	一	博	野	斎	敏	彰
				八	谷	克	幸		古	尾	真	也	永	瀬	重	博	原	斎	敏	彰
				坂	本	昭	一		堤	島	伸	二	廣	都	宮	博	原	斎	敏	彰
				吉	原	正	博		東	島	英	氏	宇	都	宮	博	原	斎	敏	彰
				小	城	原	直		牛	島	俊	人	谷	都	宮	博	原	斎	敏	彰
				愛	野	時	興		阿	部	俊	浩	谷	都	宮	博	原	斎	敏	彰
				辻	村	眞	一		井	口	浩	樹	中	村	泰	典	青	木	雄	介
				久	富	和	彦		井	津	孝	光	和	田	潔	子	青	木	雄	介
				岡	本	純	典		上	崎	瑠	珂	菅	原	恵	野	土	肥	美	智
				曾	良	中	研		谷	井	浩	治	杉	山	文	郎	清	水	智	至
				諸	江	克	昭		横	本	尚	子	西	川	哲	美	西	川	智	美
				中	村	規	代		野	山	め	み	小	松	記	江	藤	田	大	貴
				小	山	尚	祐		小	山	め	み	小	松	記	江	藤	田	大	貴
				浅	川	由	里		真	崎	武	浩	打	谷	桂	子	藤	田	大	貴

競 技 役 員

(順不同・敬称略)

競 技 委 員 長
競 技 副 委 員 長
競 技 運 営 委 員 長
競 技 運 営 副 委 員 長
競 技 日 程 進 行 委 員 長
技 術 委 員

技 術 委 員 会 事 務 局 長
技 術 委 員 会 事 務 局 次 長
技 術 委 員 会 事 務 局 員

審 判 長
審 判 員

用 具 検 査 官
用 具 委 員 長
用 具 副 委 員 長
用 具 委 員

記 録 ・ 報 道 委 員 長
報 道 副 委 員 長
放 送 委 員 長 ・ 記 録 副 委 員 長
記 録 委 員
ピ ス ト 委 員 長
ピ ス ト 副 委 員 長
ピ ス ト 委 員

総 務 委 員 長
総 務 副 委 員 長
総 務 委 員

総 合 成 績 計 算 委 員 長
総 合 成 績 計 算 委 員
会 場 委 員 長
会 場 副 委 員 長
会 場 委 員

医 務 委 員

千 田 健 一
中 野 武 志
辻 村 眞 一 郎
仁 部 智 之 生
村 上 幸 光
飯 田 徳 司
末 松 英 司
曾 良 中 研 司
漆 間 雄 昌
野 元 伸 一 郎
西 山 瑞 恵
高 橋 妃 冬 未
甲 斐 正 彦
笹 田 健 一 良
佐 藤 公 哉 太
森 田 篤 幸 也
大 野 利 哲 人
天 釜 井 昭 郎
西 川 哲 郎 明
武 田 律 哉 司
北 村 誓 也 聡
久 家 辰 宏 典
山 下 辰 宏 俊
竹 中 宏 純 太
岡 本 純 亮 子
三 野 昌 貴 裕
境 亮 隆 也
糸 山 佳 代 子
藤 田 大 尚 裕
小 山 田 尚 裕
児 島 隆 也
品 川 聖 修 耶
吉 武 咲 華
古 賀 る り
小 芦 泰 典
中 村 智 美 子
西 川 尚 子
野 本 尚 子
山 下 浩 昭
山 口 俊 里
浅 川 由 登
鶴 田 彰 武
黒 崎 久 則
松 崎 由 紀
大 島 辰 彦
北 村 辰 彦
中 山 朋 子

前 畑 順 一

金 丸 文 行
豆 田 則 子
小 山 田 め ぐ み

池 田 順 子
田 中 あ や
山 崎 大 和 吾
森 本 研 忠 司

別 府 康 司
桑 野 豊 喜
金 井 芳 子
坂 井 英 隆
山 口 悠 純

田 尻 かな え

園 田 大 輔
豊 増 優 和
山 田 英 樹
大 石 恵 美 子

岩 永 真 子
吉 村 貴 子

山 口 誠 子
西 原 和 奈 緒
橋 間 奈 緒
久 米 伸 也

和 田 潔

渡 辺 夕 美 子
小 松 記 美 江

小 林 善 洋
成 田 武 永 孝 行
知 念 豊 和

小 山 田 成 那
本 山 博 文 凡
新 郷 暢 凡 司
小 山 司

三 上 実 祥
下 野 滋 史 志 弘
八 尋 丈 敦

久 家 瑠 美 子
西 村 友 香 子

田 嶋 浩 二 孝
永 湊 史 孝

金 子 明 貴

中 村 清 一
辻 政 俊

木 村 友 哉
恒 松 健 児
佐 藤 秀 明 真
守 口 一

一 ノ 瀬 亜 希
本 山 美 喜 子
吉 田 龍 生

岸 川 拓 夢
魚 永 幸 希
原 田 涉 未 清
古 川 信

坂 井 志 保

椿 原 伸 好
岩 下 信 男

競 技 補 助 員

- ◆佐賀県立佐賀商業高等学校
- ◆佐賀県立佐賀西高等学校

競 技 会 係 員

- ◆佐賀市実施本部職員一同

競 技 会 補 助 員

- ◆佐賀市ボランティア一同

総 則

開催の趣旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

佐賀県で開催する第78回国民スポーツ大会「SAGA2024」は「新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。」をメインメッセージに掲げ、「する」「観る」「支える」の視点から、選手も、選手でない人も参加できる大会、エンターテインメント性の高い大会、みんなで力を合わせ、つくる大会をコンセプトに、体育からスポーツに変わる、今だからこそ、すべての人にスポーツのチカラを届ける新しい大会を目指して開催する。

実施方針

1 実施競技

(1) 正式競技 (37 競技)

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレー射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

(2) 公開競技 (7 競技)

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック

(3) デモンストレーションスポーツ (28 競技)

合気道、アジャタ、いごてだま、ウォーキング、草スキー、クップ、皿かぶり競走、さわやかグラウンド・ゴルフ、3B体操、室内ペタンク、シャッフルボード、スカットボール、スケートボード、スポGOMI、スポーツウエルネス吹矢、スポーツチャンバラ、ソフトバレーボール、滝登り、チャレンジ・ザ・ゲーム、パークゴルフ、バグジー、ビリヤード、フライングディスク、マリンスポーツ、ユニカール、ラージボール卓球、ラダーゲッター、ロープ・ジャンプ・X

(4) 特別競技 (1 競技)

高等学校野球

2 会期及び会場地

(1) 正式競技・特別競技（13市、11町：計24市町）

会 期	会 場 地
2024年10月5日（土） ～10月15日（火） 〔11日間〕	佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、神崎市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、みやき町、玄海町、有田町、大町町、江北町、白石町、太良町、大分県日田市、兵庫県三木市
2024年9月5日（木） ～9月17日（火） 〔13日間〕	佐賀市、伊万里市、鹿児島県湧水町 ※ 水泳、ローイング、バレーボール（ビーチバレー）、体操（体操競技、トランポリン）、カヌー（SL・WW） 競技会は上記会場地で実施
2024年9月21日（土） ～10月1日（火） 〔11日間〕	佐賀市、唐津市、鳥栖市、神崎市、大分県由布市 ※ サッカー、テニス、体操（新体操）、セーリング、ソフトテニス、ライフル射撃、剣道、クレー射撃競技会は上記会場地で実施

(2) 公開競技（6市、1町：計7市町）

会 期	会 場 地
2024年8月24日（土） ～9月22日（日）	佐賀市、唐津市、鳥栖市、武雄市、鹿島市、嬉野市、基山町

(3) デモンストラレーションスポーツ（7市、8町：計15市町）

会 期	会 場 地
2024年4月21日（日） ～10月13日（日）	佐賀市、唐津市、鳥栖市、武雄市、鹿島市、嬉野市、神崎市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、有田町、大町町、江北町、白石町、太良町

(4) 文化プログラム

文化プログラムの実施については、「文化プログラム実施基準」に基づき、2024年4月1日から2024年12月31日までの期間で、原則として、県内市町で開催する。

3 競技方法

各競技別実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

4 ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査及びアンチ・ドーピング教育活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」及び別に定める「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例」（TUE）の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が18歳未満の場合、本人の署名及び親権者の署名がある同意書を所持すること。

5 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

選手及び監督の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第 78 回国民スポーツ大会参加資格、所属都道府県及び年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【 公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ <http://www.japan-sports.or.jp/> 】

(1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手及び監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ア) 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(イ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍する学生又は生徒で、「8 参加申込方法」で定めた参加申込締切時に 1 年以上在籍していること。

b 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」又は「定住者」に該当していること。

(ウ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していた者であること。

b 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

[注] 上記(ウ)b について、大学及び専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）と体育・スポーツ協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 第 77 回又は 2023 年開催の特別大会（都道府県大会及びブロック大会を含む）において選手又は監督として参加した者は、次の場合を除き、第 77 回又は 2023 年開催の特別大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校を卒業した者

b 結婚又は離婚に係る者

[注] a 及び b は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c ふるさと選手制度を活用する者（別記 1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記 3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記 5 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

e 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記 6 「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

(イ) 少年種別

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校を卒業した者

- b 結婚又は離婚に係る者
- c 一家転住に係る者（別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）
[注] aからcは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。
- d JOC エリートアカデミーに在籍する者（別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）
- e 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）
- f 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記6「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会及び本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ 選手、監督並びに本部役員帯同のスポーツドクター及びアスレティックトレーナーは、大会参加前の1年以内に公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）が指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴」に記載した者であること。

ク 上記のほか、選手については次のとおりとする。

- (ア) 都道府県大会及びブロック大会に参加し、これを通過した者であること。
- (イ) 健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。
- (ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ケ 上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

(2) 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア 成年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 勤務地
- (ウ) ふるさと（別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ 少年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）
- (ウ) 勤務地
- (エ) 別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地

※ 「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2024年4月30日以前から本大会終了時（2024年10月15日）まで、引き続き当該地に、それぞ

れ居住、勤務、又は通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

[成年種別]

- a 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- b 別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記6「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

[少年種別]

- a 別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」の適用を受ける者
- b 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- d 別記6「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3) 選手の年齢基準

ア 選手の年齢基準については、下記を原則とする。

- (ア) 成年種別に参加する者は、2006年4月1日以前に生まれた者とする。
- (イ) 少年種別に参加する者は、2006年4月2日から2009年4月1日までに生まれた者とする。
- (ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2024年4月1日を基準とする。

イ 日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学3年生（2009年4月2日から2010年4月1日までに生まれた者）とする。

(4) 前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会及び当該競技団体が調査・審議のうえ、日本スポーツ協会がその可否を決定する。

6 各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

(1) 次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア 競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第3位以下を切り捨てる。

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
種別	4人以下	24点	21点	18点	15点	12点	9点	6点	3点
	5人以上7人以下	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	5点
	8人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	8点
種目	—————	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

〔注〕 「種別」：種別などに与える競技得点 「種目」：種目などに与える競技得点

イ 参加得点

参加得点は10点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

(2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。

ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

(3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7 表彰

(1) 冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第1位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。

(2) 冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(3) 各正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。

(4) 各正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(5) 各競技の各種別及び各種目などの第1位から第8位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものを都道府県用に1枚、更にその都道府県名と個人名を記載したもの、又は都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

8 参加申込方法

(1) 参加申込

都道府県体育・スポーツ協会会長（代表者）及び競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会又はブロック大会において選抜された者及び公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛に申込みものとする。

(2) 参加申込締切

参加申込は、定められた締切日までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。なお各競技別実施要項の「参加申込み方法」を併せて確認すること。

(3) 参加申込締切日

締切日	競技
2024年 8月15日(木) 【5競技】	水泳、ローイング、バレーボール（ビーチバレーボール）、体操、カヌー
2024年 8月28日(水) 【12競技】	サッカー、レスリング、セーリング、自転車、ソフトテニス、相撲、ライフル射撃、剣道、クレー射撃、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

2024年 9月4日(水) 【22競技】	陸上競技、テニス、ホッケー、バレーボール(6人制)、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、高等学校野球
----------------------------	---

(4) 参加申込様式

参加申込様式は、日本スポーツ協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

(5) 公開競技の参加申込

公開競技については、別途当該中央競技団体が定める所定の手続きにより行う。

(6) 選手の交代

参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、所定の様式、方法により次のア～ウ宛に届け出なければならない。

ア 全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ SAGA2024実行委員会事務局

ウ SAGA2024各競技会場地市町実行委員会事務局

なお、日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

9 棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10 大会参加負担金

(1) 大会に参加選手団(視察員を除く)を派遣する都道府県体育・スポーツ協会は、大会参加負担金を納入する。一人当たりの大会参加負担金の額は下記のとおりとする。

区 分	負 担 金
少年の種別に参加する選手	3,000円
上記以外の者(本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等)	6,000円

[注] 地震、風水害、感染症およびその他主催者の責によらない事由により大会を中止した場合、大会参加負担金の返金を行わない。

(2) 大会参加負担金は、都道府県体育・スポーツ協会できりまとめ、次のとおり納入する。

ア 納入期限 2024年9月5日(木)

イ 納入先 みずほ銀行 渋谷支店 普通預金口座 513729

公益財団法人日本スポーツ協会

11 宿泊申込

大会参加者は、SAGA2024実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込み。

12 都道府県選手団本部役員編成

- (1) 都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。
 - ア 参加選手 500 名以上の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 20 名以内とする。
 - イ 参加選手 300 名以上 500 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 15 名以内とする。
 - ウ 参加選手 300 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 10 名以内とする。
- (2) 上記役員のほか、5 名以内の顧問を設けることができる。
- (3) 上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。なお、帯同するスポーツドクターは日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。
- (4) 上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、原則としてアスレティックトレーナーを帯同するものとする。

なお、帯同するアスレティックトレーナーは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。
- (5) 都道府県選手団本部役員の 1 日あたりの編成人数については、上記(1)及び(2)による人数を上限とする。
- (6) 都道府県選手団本部役員の参加申込は、2024 年 9 月 4 日（水）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

13 視察員

- (1) 視察員は、1 都道府県 3 名以内とする。ただし、2025 年以降の国民スポーツ大会の開催が決定又は内定している県については、滋賀県 100 名以内、青森県及び宮崎県 60 名以内、長野県及び群馬県 40 名以内とする。
- (2) 都道府県の視察員の参加申込は、2024 年 9 月 4 日（水）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

14 大会参加章、記念章及び AD カードの交付

大会参加章、記念章及び AD カードは、次の者に交付する。

- (1) 大会参加章
都道府県選手団本部役員、監督及び選手並びに大会役員、競技会役員及び競技団体が指定した競技役員
- (2) 記念章
公開競技・デモンストレーションスポーツ参加者
※ 公開競技参加者への交付は、中央競技団体との協議による。
- (3) AD カード
都道府県選手団、公開競技に参加する選手・監督及び役員、大会役員・競技会役員及び競技団体が指定した競技役員、大会主催者及び競技会主催者が認めた者には AD カード (Accreditation Card) を交付する。

15 参加上の注意

- (1) 大会期間中は、交付された AD カードを携帯しなければならない。
- (2) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、「国民スポーツ大会ユニフォーム規程」に基づき、ユ

ニフォームを着用しなければならない。

16 個人情報及び肖像権に関わる取り扱い

日本スポーツ協会、SAGA2024実行委員会、SAGA2024各競技会場地市町実行委員会及び国民スポーツ大会実施競技中央競技団体（以下「国スポ関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

(1) 個人情報の取り扱い

ア 利用目的

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国スポ関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) 総合プログラム及び競技別プログラムへの掲載
- (イ) 競技会場内におけるアナウンス等による紹介
- (ウ) 競技会場内外の掲示板等への掲載
- (エ) 大会関連ホームページへの掲載
- (オ) 報道機関への提供

ウ 競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) SAGA2024実行委員会が設置する記録本部を通じた公開
- (イ) 国スポ関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌及び関連ホームページ等への掲載
- (ウ) 国スポ関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載
- (エ) 次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等】

(2) 肖像権に関する取り扱い

ア 写真

国スポ関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがある。

イ 写真（写真撮影企業等）

国スポ関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。

なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ 映像

国スポ関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。また、DVD等に編集され、販売・配付されることがある。

(3) 対応

ア 承諾の確認

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

イ 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国スポ関係機関・団体と大会に関する契約をしている者及び大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

17 都道府県大会及びブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

(1) 都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会及び中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本スポーツ協会及び中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

(2) 都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

(3) 参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込み。

なお、参加は1人1競技に限る。

(4) ブロック大会の申込みは、原則として国民スポーツ大会参加申込システムにより行い、様式は日本スポーツ協会及び当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

(5) 都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。

(6) 参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

(7) 競技運営に差し支えない限り、佐賀県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

18 国民スポーツ大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会及び都道府県体育・スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民スポーツ大会参加者傷害補償制度を運営する。

(1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会及び本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、視察員並びにその他選手団役員とする。

(2) 大会参加の都道府県体育・スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり1,000円）を、日本スポーツ協会に納入する。

(3) 納入締切日及び納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県体育・スポーツ協会へ通知する。

19 SAGA2024の取り組み

(1) 選手の活躍にスポットを当てた表彰

選手の活躍は、観る人、支える人などにとって「感動する。魂が揺さぶられる」など「スポーツのチカラ」を多くの方に届けることができる。それぞれの選手の活躍にスポットを当てた「称える・伝える」表彰制度を創設し、表彰する。

(2) 観戦機会の拡大

「すべての人に、スポーツのチカラを。」の実現に向け、全国で大会の観戦・応援ができる環境づくりとしてインターネットを活用した正式競技の動画配信に取り組む。また、「一人でも多くの方に会場で観戦・応援を楽しんでほしい。」という思いから、夕方以降の試合が可能な一部の競技においてナイトゲーム開催に取り組む。

(3) 健康づくりの推進

健康増進法（平成14年法律第103号）の趣旨に鑑み、開・閉会式会場及び競技会場を原則禁煙とする。また、望まない受動喫煙を生じさせることがないように、大会参加者は、会場周辺の道路や駅、一般の店舗等における受動喫煙防止についても十分な配慮すること。

20 その他

(1) 参加申込及び宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、又は、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。

(2) 大会運営にあたり、選手・観客・大会関係者への安全を最優先に配慮し、気象状況・感染状況・交通状況・テロ行為等の各種災害に伴い、安全確保が見込めないと主催者が判断した場合は、主催者の指示に従うものとする。また、安全確保のために、参加申込システムに登録された以外の個人情報を取得する場合がある。取得した情報については、目的以外に利用しない。

(3) その他の事項については、国民スポーツ大会開催基準要項及び同細則による。

別記1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」

- 1 成年種別年齢域の選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号及び第10項第4号（参加資格及び年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。
 - (1) 居住地を示す現住所
 - (2) 勤務地
 - (3) ふるさと
- 2 「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOC エリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第3項により取り扱うものとする。
- 3 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者及び「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。ただし、「日本国籍を有する者および『永住者』」に該当しない者であっても、当該大会年の4月30日（冬季大会は前年の4月30日）以前から本大会終了時（冬季大会は各競技会終了時）まで継続的に日本に滞在している場合は、本制度を活用できるものとする。なお、やむを得ない事情により、一時的に日本を離れる場合は、総日数の半数を超えて日本で滞在していること。
- 4 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。
- 5 「ふるさと」から参加する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1-③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。
- 6 ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。
- 7 参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本スポーツ協会宛に提出する。

別記2 「『一家転住等』に伴う特例措置」

転校への特例

- 1 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③）に抵触しないものとする。
 - (1) この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。
 - (2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。
なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。
 - ア 親の転勤による一家の転居
 - イ 親の結婚、離婚による一家の転居
 - ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居
 - (3) 転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。
 - ア 本特例を受けようとする参加者は、下記2(1)の場合は転居元、下記2(2)の場合は転居先が属する都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。
 - イ 報告を受けた都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体は、下記2(1)の場合は転居先、下記2(2)の場合は転居元が属する都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。
- 2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。
 - (1) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合
 - イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合
 - ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合
 - (2) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記1に該当する者については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号及び第10項第4号（参加資格及び年齢基準等）〕及び別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、次の2～4の特例を適用する。

1 対象者

- (1) 少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者
- (2) 成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

2 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第1項-(1)に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民体スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-2)-②に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第1条に規程する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

3 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第1項-(2)に定める成年種別年齢域の選手は、別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第2項に定める卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

4 国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第1項-(1)に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

[注] 本特例第1項-(2)に定める成年種別年齢域の選手については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）の規定に従い扱うものとする。

5 その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容が JOC エリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、当該事業を本特例の対象に加えることができる。

別記4 「トップアスリーの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリーの国民スポーツ大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

1 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 第32回オリンピック競技大会（2021年・東京）に参加した者。
- (2) 2024年4月30日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者

ア JOC オリンピック強化指定選手

イ 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者

ウ 中央競技団体が定めた強化指定選手

※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2 特例の内容

(1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」又は「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2024年4月30日以前から大会終了時（2024年10月15日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

- a 自ら所有する住居、又は自らの名義で住居を賃借していること
- b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
- c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
- d 当該住居に主要な家財道具が存すること

- (イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2024年4月30日以前から大会終了時（2024年10月15日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。

- (イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③のとおりとする。

別記5 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況及び影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県との6県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手及び監督は、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たしていても、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2011年3月11日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2024年4月30日以前から大会終了時（2024年10月15日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手及び監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、第77回または2023年開催の特別大会に当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1-③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2011年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2024年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」及び「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出又は学籍に係る要件を満たしていても、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から 2023 年開催の特別大会または第 78 回大会に参加した者が、第 79 回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項-(1)-1)-③(国内移動選手の制限)には抵触しないものとする。

- <例> ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合
○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする場合
○ 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011年度から2012年度(小学校は2015年度)までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

別記6 「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、新潟県、富山県、石川県、福井県の4県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2024年1月1日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2024年4月30日以前から当該大会終了時（2024年10月15日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、第77回大会または2023年開催の特別大会に、当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2024年1月1日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2024年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場

することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から 2023 年開催の特別大会または第 78 回大会に参加した者が、第 79 回大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項-(1)-1)-③(国内移動選手の制限)には抵触しないものとする。

- <例>
- 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合
 - 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合
 - 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2024年度から2025年度(小学校は2028年度)までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

フェンシング競技実施要項

1 期 日 2024年10月7日(月)から10月10日(木)まで(4日間)

種 別	種 目	10月7日(月)	10月8日(火)	10月9日(水)	10月10日(木)
成年男子	フルーレ	1～2回戦	3回戦～決勝		
	エペ			1～2回戦	3回戦～決勝
成年女子	フルーレ	1～2回戦	準々決勝～ 決 勝		
	サーブル			1 回 戦	2回戦～決勝
少年男子	フルーレ		1～2回戦	準々決勝～ 決 勝	
少年女子	フルーレ		1～2回戦	準々決勝～ 決 勝	

2 会 場 佐賀市 SAGAサンライズパーク SAGAプラザ

3 種別(種目)及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加都道府県	小 計	合 計(人)
成年男子	3		47	141	339
成年女子	3		18	54	
少年男子	1	3	18	72	
少年女子	1	3	18	72	

(注) 成年男女の選手は、監督を兼ねる。

4 競技上の規程及び方法

- (1) 競技規則は、FIE 規則及び公益社団法人日本フェンシング協会の定める競技規則による。
- (2) 試合内容は、各種目とも1チーム3名編成の紅白戦による団体戦とする。
- (3) 1回戦及び2回戦は、リーグ戦方式、以後はトーナメント方式とする。
- (4) 各種別及び各種目とも1～8位決定戦を行う。

5 予選方法

- (1) 各都道府県協会は、都道府県大会を実施し、ブロック大会及び本大会に出場する選手を決定する。
- (2) 実施要領
 - ア 都道府県大会は、その主催する支部において、細目を決定し実施すること。
 - イ ブロック大会は、その主催する支部が同一ブロック内の支部と協議して本大会に準じて細目を決定し実施すること。

(3) 報告

都道府県大会及びブロック大会とも競技終了後5日以内に試合成績表を必ず公益社団法人日本フェンシング協会宛に提出すること。

(4) ブロック大会区分及び代表チーム数は、下記のとおりとする。

ブロック名	都道府県名	成年女子	少年男子	少年女子
北海道	北海道	1	1	1
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	2	2	3
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	4	3	3
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	1	2	1
東海	静岡、愛知、三重、岐阜	1	1	2
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	3	2	2
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	1	2	1
四国	香川、徳島、愛媛、高知	1	1	2
九州	福岡、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	3	3	2
開催県	佐賀	1	1	1
計		18	18	18

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則5に定めるもののほか、次による。

監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認フェンシングコーチ1、公認フェンシングコーチ3、公認フェンシングコーチ4のいずれかの資格を有していること。

監督・選手は、都道府県大会以前に公益社団法人日本フェンシング協会の会員登録を済ませた者とする。

都道府県大会・ブロック大会とそれぞれ異なる種別への参加を認める。但し、選手は都道府県大会に参加している者に限る。

なお、少年種別に参加できる選手には、2009年4月2日から2010年4月1日までの間に生まれた中学3年生を含むものとする。

7 総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競技得点
成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	成年女子 少年女子	各種目とも1位24点、2位21点、3位18点、4位15点、5位12点、6位9点、7位6点、8位3点の競技得点を与える。

(2) 参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に10点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8 表 彰

- (1) 男女総合成績及び女子総合成績第1位から第8位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- (2) 男女総合成績の第1位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 少年男子、少年女子の各種別及び成年男子・成年女子の各種目の第1位から第8位までに、賞状を授与する。

9 参加申込み方法

- (1) 所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要事項を記入の上、所属都道府県体育・スポーツ協会を通じて、2024年9月4日（水）までに申込み手続きを完了すること。
- (2) 締切期限以降は所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので、期限を厳守すること。
- (3) 参加申込み締切後の選手・監督の変更は、死亡、傷病、傷害、転勤等の特別な場合のみ認めるものとし、その取扱いは次の通りとする。

ア 提出期限 2024年10月5日（土）【技術委員会会議前日まで】

イ 提出先

- (ア) 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
公益社団法人日本フェンシング協会
TEL 03-5843-0040 FAX 03-5843-0041
- (イ) 〒840-8570 佐賀県佐賀市城内一丁目1番59号
SAGA2024実行委員会事務局
（佐賀県SAGA2024・SSP推進局
SAGA2024競技運営チーム 国民スポーツ大会担当）
TEL 0952-25-7405 FAX 0952-25-7354
- (ウ) 〒840-0831 佐賀県佐賀市松原一丁目3番5号 まるなかビル4階
SAGA2024佐賀市実行委員会事務局
（佐賀市国スポ・全障スポ推進部国スポ・全障スポ競技課）
TEL 0952-40-7371 FAX 0952-20-5008

ウ 提出書類

選手変更を証明するものを添付し、文書にて届出をする。なお、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、別途、所定の手続きにより参加申込み情報を修正すること。

10 その他

(1) 組合せ抽選会

日 時 2024年9月9日（月） 午後1時30分
場 所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 会議室
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
公益社団法人日本フェンシング協会事務局
TEL 03-5843-0040 FAX 03-5843-0041

(2) 技術委員会会議

日 時 2024年10月6日（日） 午後2時
場 所 佐賀県スポーツ会館
〒849-0923 佐賀市日の出二丁目1番11号
TEL 0952-30-7716 FAX 0952-30-7708

(3) 審判会議

日 時 2024年10月6日(日) 午後3時
場 所 佐賀県スポーツ会館
〒849-0923 佐賀市日の出二丁目1番11号
TEL 0952-30-7716 FAX 0952-30-7708

(4) 監督会議

日 時 2024年10月6日(日) 午後4時
場 所 佐賀県スポーツ会館
〒849-0923 佐賀市日の出二丁目1番11号
TEL 0952-30-7716 FAX 0952-30-7708

(5) 総合表彰式

日 時 2024年10月10日(木) 午後1時
場 所 SAGAサンライズパーク SAGAプラザ
〒849-0923 佐賀県佐賀市日の出一丁目21番15号
TEL 0952-32-2131 FAX 0952-32-2133

(6) 用具検査について

ア 試合に使用する用具は、競技会場用具検査室で行う検査に合格し、所定の検査合格証が明示してあるものを使用しなければならない。特に以下の5点について安全確保のためFIE公認用具を適用する。(ユニフォーム上下、プロテクター、ソフトカバー付きチェストプロテクター(フルーレのみ)、マスク)

- (ア) FIE公認マーク付きユニフォーム上下 800N (少年の部は350N以上)
- (イ) FIE公認マーク付き半袖付プロテクター 800N
- (ウ) フルーレについては、FIE公認ソフトカバー付きチェストプロテクター
- (エ) FIE公認マーク付きマスク 1600N

(オ) 2010年6月13日付け「競技における事故防止・安全管理について」、2015年1月8日付け「マスクの安全基準改定について」、ルール・審判委員会2018年9月6日付け「胸部保護具他に関する規則適用について」、2019年9月11日付け「電気サーブル用グローブに関する規定について」に準ずる。2024年1月22日付け「FIE用具規定(m)ルール変更に伴う適用について(改訂)」を適用する。

イ 用具検査は、次の日程で行う。試合の前日には必ず検査を受けるようにすること。

検査日時	実施種目	検査対象用具
10月6日(日) 12:00~17:00	成年男子・成年女子フルーレ	○剣 (4本)
10月7日(月) 8:00~競技終了	成年男子・成年女子フルーレ 少年男子・少年女子フルーレ	○フルーレ・マスク (2個) ○エペ・マスク (2個)
10月8日(火) 8:00~競技終了	成年男子フルーレ・エペ 成年女子フルーレ・サーブル 少年男子・少年女子フルーレ	○サーブル・マスク (2個) ○ボディワイヤー (3本) ○メタルジャケット (2着)
10月9日(水) 8:00~競技終了	成年男子エペ 成年女子サーブル 少年男子・少年女子フルーレ	○フルーレ・マスクケーブル (2本) ○サーブル・マスクケーブル (2本) ○FIE一体型サーブル用グローブまたはFIEサーブルグローブ+カフ(2個)
10月10日(木) 8:00~競技終了	成年男子エペ 成年女子サーブル	

(注1) 検査対象用具については、過去の合格シール・ゼッケン等すべて取り外しておくこと。

(注2) ブレードとガードに錆が付いているものは受け付けない。

- (注3) マスクについては、安全バンドが付いているものでなければならない。
- (注4) フルーレのマスクは、絶縁されたものでなければならない。
- (注5) 2日以降の取り扱い終了時間は、原則として競技終了時とする。
- (注6) 検査対象用具の()内は、1人が検査に出せる最大数である。
- (注7) 国民体育大会ユニフォーム規程「いかなる形の広告や宣伝活動、コマーシャル等(以下「広告」という。)の表示がない衣服を着用するものとする。」
(例：ユニフォーム上・下 メタルジャケット・ストッキング等全て)
横断幕等へのスポンサー名や所属企業名の掲載も禁止とする。

表彰式次第

1 式典の日時

種目別表彰式① (成年男子フルーレ) (成年女子フルーレ)	【日 時】	令和6年10月8日(火) (12:10 開始予定 30分程度)
種目別表彰式② (少年男子フルーレ) (少年女子フルーレ)	【日 時】	令和6年10月9日(水) (12:00 開始予定 30分程度)
種目別表彰式③ (成年男子エペ) (成年女子サーブル)	【日 時】	令和6年10月10日(木) (13:00 開始予定 30分程度)
総合表彰式 (女子総合) (男女総合)	【日 時】	令和6年10月10日(木) (種目別表彰式③に引続き)
閉会式	【日 時】	令和6年10月10日(木) (総合表彰式に引続き)

2 式次第

種目別表彰式 【次第】

- 1 開式通告
- 2 授与者紹介
- 3 成績発表(女子)
- 4 賞状授与(成年女子フルーレ・少年女子フルーレ・成年女子サーブル)
- 5 成績発表(男子)
- 6 賞状授与(成年男子フルーレ・少年男子フルーレ・成年男子エペ)
- 7 SAGA CITY Presents フェンシング MVP(最優秀選手)賞 授与
- 8 閉式通告

総合表彰式・閉会式 【次第】 (10日のみ)

- 9 開式通告
- 10 女子総合成績発表
- 11 表彰状授与
- 12 男女総合成績発表
- 13 表彰状・大会会長トロフィー授与
- 14 競技会会長あいさつ
- 15 歓送のことば
- 16 国旗、大会旗・協会旗・県旗・市旗儀礼
- 17 競技会終了宣言
- 18 閉式通告

フェンシング競技 競技日程

会場		月日	1日目	2日目	3日目	4日目	
			10月7日(月)	10月8日(火)	10月9日(水)	10月10日(木)	
SAGAサンライズパーク SAGAプラザ	成年男子	フルーレ	1～2回戦 9:00～14:50	3回戦～決勝 9:00～12:00 表彰式 12:10～12:40			
		エペ			1～2回戦 9:00～17:10	3回戦～決勝 9:00～12:00 表彰式・閉会式 13:00～13:50	
	成年女子	フルーレ	1～2回戦 11:20～16:00	準々決勝～決勝 9:30～12:00 表彰式 12:10～12:40			
		サーブル			1回戦 14:50～16:00	2回戦～決勝 9:00～12:00 表彰式・閉会式 13:00～13:50	
	少年男子	フルーレ		1～2回戦 13:50～16:10	準々決勝～決勝 9:30～11:50 表彰式 12:00～12:30		
	少年女子	フルーレ		1～2回戦 12:40～16:10	準々決勝～決勝 9:00～11:50 表彰式 12:00～12:30		
	総合表彰式・閉会式			10月10日(木) 13時00分			

諸 会 議 日 程

会議名	日時	場所
技術委員会会議	10月6日(日) 14時00分	佐賀県スポーツ会館
審判会議	10月6日(日) 15時00分	佐賀県スポーツ会館
監督会議	10月6日(日) 16時00分	佐賀県スポーツ会館

競技日程表 (第1日目)

10月7日 (月)

成年男子フルーレ (1~2回戦)

成年女子フルーレ (1~2回戦)

時刻 \ ピスト	1ピスト	2ピスト	3ピスト	4ピスト	5ピスト	6ピスト	7ピスト	8ピスト
8:00	技術委員会打ち合せ							
8:30	成年男子フルーレ1回戦 (1~8) メンバー票提出							
9:00	審判会議 (8:30開始)							
9:00	成年男子フルーレ 1回戦							
9:30								
10:00	1	2	3	4	5	6	7	8
10:30								
11:00	成年男子フルーレ 1回戦				成年女子フルーレ 1回戦			
11:30								
12:00					1	2	3	4
12:30					成年女子フルーレ 1回戦			
13:00	9	10	11	12				
13:30					5	6		
14:00	成年男子フルーレ 2回戦							
14:30	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
15:00	成年女子フルーレ 2回戦							
15:30	①	②	③	④				
16:00								
16:30								
17:00								

ピスト及び試合開始時刻を変更する場合がありますので、場内放送にご注意ください。

競技日程表（第2日目）

10月8日（火）	成年男子フルーレ（3回戦～決勝） 少年男子フルーレ（1～2回戦）	成年女子フルーレ（準々決勝～決勝） 少年女子フルーレ（1～2回戦）
----------	-------------------------------------	--------------------------------------

時刻	ピスト	1ピスト	2ピスト	3ピスト	4ピスト	5ピスト	6ピスト	7ピスト	8ピスト
8:00		技術委員会打ち合せ							
8:30		成年男子フルーレ 3回戦 メンバー票提出							
9:00		審判会議（8:30開始）							
		成年男子フルーレ 3回戦							
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
9:30			成年女子フルーレ 準々決勝 1	2			成年女子フルーレ 準々決勝 3	4	
10:00			成年男子フルーレ 準々決勝 1	2			成年男子フルーレ 準々決勝 3	4	
10:30			成年女子フルーレ 準決勝 1	2			成年女子フルーレ 予備戦 1	2	
11:00			成年男子フルーレ 準決勝 1	2			成年男子フルーレ 予備戦 1	2	
11:30		成年男子フルーレ				成年女子フルーレ			
12:00		決勝戦出場チーム入場・紹介							
		5位決定	決勝	3位決定	7位決定	5位決定	決勝	3位決定	7位決定
12:30		種目別表彰式（成年男子フルーレ・成年女子フルーレ）							
13:00		少年女子フルーレ 1回戦							
		1	2	3	4	5	6		
13:30									
14:00		少年男子フルーレ 1回戦							
				1	2	3	4	5	6
14:30									
15:00		少年女子フルーレ 2回戦				少年男子フルーレ 2回戦			
		①	②	③	④	①	②	③	④
15:30									
16:00									
16:30									
17:00									

ピスト及び試合開始時刻を変更する場合がありますので、場内放送にご注意ください。

競技日程表（第3日目）

10月9日（水） 成年男子エペ（1～2回戦） 成年女子サーブル（1回戦）
少年男子フルーレ（準々決勝～決勝） 少年女子フルーレ（準々決勝～決勝）

時刻	1ピスト	2ピスト	3ピスト	4ピスト	5ピスト	6ピスト	7ピスト	8ピスト
8:00	技術委員会打ち合せ							
8:30	少年女子フルーレ準々決勝、成年男子エペ1回戦（1～4） メンバー票提出							
9:00	審判会議（8:30開始）							
9:30	成年男子エペ 1回戦 1	少年女子フルーレ 準々決勝 1 2	成年男子エペ 1回戦 2 3		少年女子フルーレ 準々決勝 3 4	成年男子エペ 1回戦 4		
10:00		少年男子フルーレ 準々決勝 1 2			少年男子フルーレ 準々決勝 3 4			
10:30		少年女子フルーレ 準決勝 1 2			少年女子フルーレ 予備戦 1 2			
11:00		少年男子フルーレ 準決勝 1 2			少年男子フルーレ 予備戦 1 2			
11:30	少年男子フルーレ				少年女子フルーレ			
12:00	決勝戦出場チーム入場・紹介							
12:30	5位決定	決勝	3位決定	7位決定	5位決定	決勝	3位決定	7位決定
13:00	種目別表彰式（少年男子フルーレ・少年女子フルーレ）							
13:30	成年男子エペ 1回戦							
14:00	5	6	7	8	9	10	11	12
15:00	成年女子サーブル 1回戦							
15:30	1	2	3	4	5	6		
16:00	成年男子エペ 2回戦							
16:30	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
17:00								

ピスト及び試合開始時刻を変更する場合がありますので、場内放送にご注意ください。

競技日程表（第4日目）

10月10日（木） 成年男子エペ（3回戦～決勝） 成年女子サーブル（2回戦～決勝）

時刻	ピスト	1ピスト	2ピスト	3ピスト	4ピスト	5ピスト	6ピスト	7ピスト	8ピスト
8:00		技術委員会打ち合せ							
8:30		成年男子エペ3回戦（(1)～(4)）、成年女子サーブル2回戦 メンバー票提出							
		審判会議（8:30開始）							
9:00		成年男子エペ 3回戦 (1)	成年女子サーブル 2回戦	成年男子エペ 3回戦 (2)	成年男子エペ 3回戦 (3)	成年女子サーブル 2回戦	成年男子エペ 3回戦 (4)	成年男子エペ 3回戦 (5)	成年男子エペ 3回戦 (8)
9:30		成年男子エペ 3回戦 (5)	①	②	成年男子エペ 3回戦 (6)	成年男子エペ 3回戦 (7)	③	④	成年男子エペ 3回戦 (8)
10:00			成年男子エペ 準々決勝 1 2				成年男子エペ 準々決勝 3 4		
10:30			成年女子サーブル 準々決勝 1 2				成年女子サーブル 準々決勝 3 4		
11:00		成年男子エペ 予備戦 1	成年男子エペ 準決勝 1 2	成年男子エペ 予備戦 2	成年女子サーブル 予備戦 1	成年女子サーブル 予備戦	成年女子サーブル 準決勝 1 2	成年女子サーブル 予備戦 2	成年女子サーブル 予備戦 2
11:30		成年男子エペ				成年女子サーブル			
12:00		決勝戦出場チーム入場・紹介							
12:00		5位決定	決勝	3位決定	7位決定	5位決定	決勝	3位決定	7位決定
13:00		種目別表彰式（成年男子エペ・成年女子サーブル） 総合表彰式 ・ 閉会式							
14:00									
15:00									
16:00									
17:00									

ピスト及び試合開始時刻を変更する場合がありますので、場内放送にご注意ください。

アップ場練習場開設時間

開設日	アップ場	練習場
	SAGA プラザ小競技場	佐賀市立体育館
10月6日(日)	10:00~17:00	10:00~16:00
10月7日(月)	8:00~競技終了まで	8:00~16:00
10月8日(火)	8:00~競技終了まで	
10月9日(水)	8:00~競技終了まで	
10月10日(木)	8:00~競技終了まで	

【注意事項】

- 1 上記の開設時間を厳守してください。
- 2 アップ場及び練習場以外での練習は禁止です。
- 3 自由練習としますが、混み合っている場合は、お互いに譲り合って使用してください。
- 4 10月7日(月)~10月10日(木)については、第1試合出場の選手のみ、競技会場での練習を許可します(8:00~8:50に限る)。
- 5 練習場の佐賀市立体育館入場の際にはADカードの確認があります。必ず着用してください。
- 6 水分補給時を除き飲食禁止、土足厳禁です。飲料等をこぼした場合は、必ず拭き取ってください。またフロアの上で物を引きずらないでください。
- 7 用具やゴミを放置しないでください。
- 8 用具は、荷物置場に整頓して置いてください。
- 9 剣の曲がりを直す際には、剣身修正板を使用してください。
- 10 トレーナーが施術する際に使用するマッサージベッドについては、アップ場のマッサージスペースでのみ使用を許可します。マッサージスペース以外での使用は禁止です。
- 11 貴重品については、各自で責任を持って管理してください。
- 12 施設内は、全て禁煙です。屋外の喫煙所を利用してください。

第78回国民スポーツ大会フェンシング競技について

1 競技運営方法は、「第78回国民スポーツ大会フェンシング競技実施要項」による。

2 競技種別・種目及び参加人数

- (1) 成年男子 監督兼選手1名 選手2名（フルーレ・エペ）
- (2) 成年女子 監督兼選手1名 選手2名（フルーレ・サーブル）
※ 成年男子・女子の監督は、選手を兼ねる。
- (3) 少年男子 監督1名 選手3名（フルーレ）
- (4) 少年女子 監督1名 選手3名（フルーレ）

3 競技上の規則及び方法

- (1) 競技規則は、F. I. E規則及び（公社）日本フェンシング協会の定める競技規則を準用する。
※ビデオ判定システムは準々決勝より導入する。

両チームの選手は1試合（5本勝負）につき、1回のビデオ判定の要請が許可される。

主審の判定で間違いが明らかになった場合、選手のビデオ判定の要請はカウントされない。

主審の判定が正しかった場合、判定の要請はカウントされ、その後、選手は要請出来なくなる。

- (2) 試合方法は、各種目とも1チーム3名編成の紅白戦による団体戦とする。
- (3) 1回戦及び2回戦は、3チーム～4チームによるリーグ戦を行い、そのうち各プール上位2チームが2回戦及び3回戦に進出する。
3回戦以降はトーナメント方式とし、1～8位決定戦を行う。
- (4) 試合時間は、全種目3分間実働とする。
- (5) 全種目5本勝負とし、片方の選手がトゥシュを5本先取したとき、または、有効な試合時間が3分経過したときに終了する。その時点ではトゥシュを多く取っている選手が勝者となる。記録は5本先取したとき、勝者にはV、敗者にはその時点での突数のみを記す。

※ 規定時間終了時に同点の場合は、次により勝者を決定する。

- ①アドヴァンテージ決定のための抽選の後、1分間を限度として1本勝負を行う。

この間に勝者が決定しない場合は、アドヴァンテージを有する選手が勝者となる。

記録は勝者にはVの後に同点時の突数を記し、敗者には同点時の突数のみを記す。

- ②1本勝負で勝者が決定した場合は、記録表に記入するスコアは、勝者にはVの後に同点時の突数に1本を加えた突数、敗者には同点時の突数を記す。
- ③エペにおいては、4-4からのクー・ドゥブル及び3分のタイムアップ後のクー・ドゥブルは記録しない。

- (6) 同一プールにおける順位は、次の順序により決定される。

①チーム勝数の多い方を上位とする。

②チーム勝数が同一の場合は、個人勝数が多い方を上位とする。

③個人勝数も同一の場合は、そのチームの全部の突数（TD）と被突数（TR）から計算したTD-TR指数が高い方を上位とする。

④TD-TR指数も同じ場合は、突数（TD）の多い方を上位とする。

⑤上記がすべて同じ場合は、その順位は同等とする。もし、団体間の差異が必要なら監督が指名した代表者1名によるバラージを行う。

- (7) トーナメントの試合で、いずれか一方のチームが2勝したら試合を終了する。

(8) ベンチは、そのプールの中の若い番号のチームがプレジダンの右手側に位置する。トーナメントの場合は表の上側を若い番号とする。

(9) 各プール内の試合順序は、次のとおりとする。

* 3チームのプール戦

第1試合 1-2

第2試合 第1試合の敗者-3

第3試合 第1試合の勝者-3

* 4チームのプール戦

第1試合 1-4

第2試合 2-3

第3試合 第1試合の勝者-第2試合の敗者

第4試合 第1試合の敗者-第2試合の勝者

第5試合 2勝しているチームとそのチームの残り試合。または、2勝同士の試合。

1勝1敗の場合は3試合の勝者の残り試合

第6試合 残りの試合

以上の順番で行い、失格決定チーム同士の試合は行わない。

※プール内の番号 (NO.) はコンピューターの抽選により行う。

4 組合せ決定方法

組合せの決定方法は、次に定めるところによる。なお、第1回戦の組合せ抽選は、公益財団法人日本スポーツ協会代表と(公社)日本フェンシング協会代表及び技術委員により、9月9日に行われた。

(1) 成年男子フルーレは、特別競技会(垂水市)の第8位までの都道府県をシードとする。

(2) 成年男子エペは、第74回競技会(水戸市)の第8位までの都道府県をシードとする。

(3) 成年女子フルーレ・少年男子・少年女子は、特別競技会(垂水市)の第8位までの都道府県で今競技会に出場している上位6チームまでをシードとする。

ただし、特別競技会(垂水市)第8位までの都道府県で今競技会に出場しているチームが5チーム以下の場合、該当数までしかシードを行わない。

(4) 成年女子サーブルは、第74回競技会(水戸市)の第8位までの都道府県で今競技会に出場している上位6チームまでをシードとする。

ただし、第74回競技会(水戸市)8位までの都道府県で今競技会に出場しているチームが5チーム以下の場合、該当数までしかシードを行わない。

(5) 各種別各種目とも、第1回戦は同一ブロック内の対戦は行わない。

(6) 上記以外は、無差別抽選とする。

(7) 第2回戦については、第1回戦の成績に基づき、技術委員会において決定する。ただし、この組合せに関しては同一ブロック・1回戦での対戦があっても一切考慮しない。

(8) 第3回戦については、第2回戦の成績に基づき、技術委員会において決定する。ただし、この組合せに関しては同一ブロック・前回戦での対戦があっても一切考慮しない。

※ シード順位に関しては、次の優先順位により決定する。

① チーム勝率

② 総個人勝率(総勝数÷総試合数)

③ 総突数率(総突数÷総被突数)

④ ①~③がすべて同じ場合は、1回戦組合せシード順位(含む抽選順位)の高い方を上位とする。

5 注意事項

- (1) 電気剣・ボディーコード・メタルジャケット等は故障のないようによく整備し、試合前に必ず用具検査を行うこと。
- (2) 主催者の用意する「ゼッケン」をマスクに貼りつけて出場すること。
また、監督については、ADカードを着用すること。
- (3) 組合せ及び試合日程、時間、ピストの変更などDTからの連絡事項は、DT掲示板によって行う。(場内放送ともども十分注意すること。)
- (4) 競技開始時間が早くなることがあるので、選手は競技開始予定時間1時間前に会場に到着していること。
- (5) コールは、競技開始予定時間の30分前に行う。
- (6) 試合開始15分前までに、競技会場の選手待機所に試合のできる状態で待機すること。
- (7) 女子の場合は、Tシャツの上に強固な素材による「前胸部保護具」を着用し、さらに胸当て(布製プロテクター)を着用すること。
男子の場合は、「前胸部保護具」の使用は認めるが、その場合も保護具の上に胸当て(布製プロテクター)を着用すること。
- (8) 試合開始前、ピストにて審判員がユニフォームの点検を実施する。
- (9) 「メンバー票」提出後、試合が始まるまでの間は、競技会場の選手待機所で待機すること。
- (10) 競技会場フロア及びピスト選手席には、当該種目の選手・監督以外は入場できない。
- (11) 出場都道府県のチーム名プレートはピスト委員が掲示する。
- (12) ピスト選手席へのフェンシングバックの持ち込みは認めない。フェンシングバック等は、選手控所の荷物置場に整理整頓して置くこと。また、貴重品等は各自で管理すること。
- (13) 競技会場、アップ場及び練習場を直接剣で突いたり、剣やマスクを投げつけたり、ものを引きずったりなどフロアを傷つける行為は絶対にしないこと。
- (14) 競技会場、アップ場及び練習場では、原則飲食禁止。ただし、試合や練習時の水分補給については特別に許可する。飲料等をこぼした場合は、拭き取ること。



勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構



超えて いけ

挑戦者たちは越えようとする。
記録を。ライバルを。自分自身を。
過去の常識も。世界の価値観さえも。
挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
これまで、そしてこれからも、
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
スポーツの持つ様々な可能性で、
望む未来へたどり着くために。



JSPPO

Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN GAMES を応援しています。



大塚製薬



三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ

時事通信

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』という社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、
「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、
また誰に対してであっても、スポハラは起こりえます。



UNIVAS



NO!

スポハラ

スポーツ・ハラスメント

(暴力・暴言・ハラスメントなど)に、

みんなが『NO!』と言う社会を目指して



ぼうりょくこういとうそうだんまどぐち

スポーツにおける暴力行為等相談窓口

相談員



りようかのう
どなたでもご利用可能!

きがる そうだん
お気軽にご相談ください

スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・
スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書»



アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

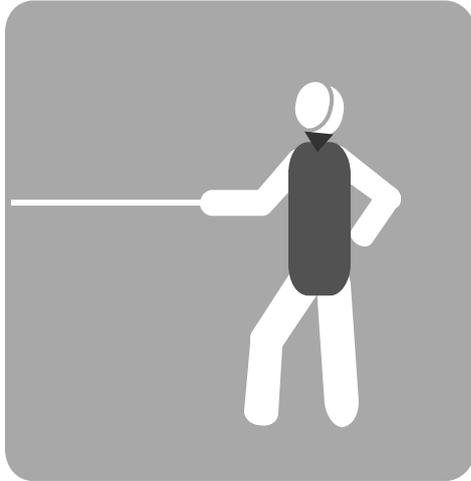
アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続きにより、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

F l e u r e t (フルーレ)



[剣の重さ]	500 g以下]
[剣の全長]	110 cm以下]
[ガードから剣先まで]	90 cm以下]
[ガードの直径]	12 cm以下]

剣先には500 gの強さのバネが入っていて、これ以上の力で突くとランプが点灯します。剣はしなやかで、昔、剣先に色のついたポイントをつけていたため、フランス人はこの種目を花 (Fleure:フルール) にたとえたことから、「フルーレ」という名前が生まれました。

部分が有効面

フルーレは、3種目の競技のうち一番基本的となるもので、突きだけを用います。

昔、まだ剣術の練習に真剣を使っていた頃 (マスクもなかった)、危険を避けるため約束事を決めました。それは、相手が攻撃をしてきたならば、その剣を払ってからでなければ反撃してはならないということです。この練習のための技術がスポーツ化したものです。

フルーレでは「攻撃をするためには、まず腕を伸ばす」ことから始まり「攻撃されれば、相手の剣を完全に払いのけて攻撃」をしなければなりません。この攻撃と反撃の剣と剣の渡り合いが、フルーレの最大の見どころといえるでしょう。

フランスでは、この剣と剣の攻防をPhrase d' arme : フラーズ・ダ・ルム (剣と剣の旋律) と表現するほどです。

フルーレには有効面と無効面があり、有効面は金属繊維で出来ているジャケットを着用した部分 (頭・両足・両腕を除いた胴体部分すべて) とマスクの一部 (ビブ) です。その部分を突くと突いた選手側の「赤」または「緑」の色ランプが点灯し、突いた選手の得点が入ります。無効面を突くと、「白」のランプが点灯します。

両方のランプがほとんど同じに点灯した場合などは、試合規則によってどちらかの攻撃が有効であったか、あるいは「同時攻撃」であったかを、主審が判定します。

フェンシング競技組合せ表

【 成年男子フルーレ 】

1回戦（各プール2チーム上がり）

1

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
大分県	1	■							
三重県	2		■						
滋賀県	3			■					

2

都道府県名	No.	1	2	3	4	V	VI	TD	TR	PL
鹿児島県	1	■								
秋田県	2		■							
奈良県	3			■						
高知県	4				■					

3

都道府県名	No.	1	2	3	4	V	VI	TD	TR	PL
山形県	1	■								
神奈川県	2		■							
岐阜県	3			■						
沖縄県	4				■					

4

都道府県名	No.	1	2	3	4	V	VI	TD	TR	PL
徳島県	1	■								
宮崎県	2		■							
千葉県	3			■						
京都府	4				■					

5

都道府県名	No.	1	2	3	4	V	VI	TD	TR	PL
広島県	1	■								
埼玉県	2		■							
熊本県	3			■						
愛知県	4				■					

6

都道府県名	No.	1	2	3	4	V	VI	TD	TR	PL
北海道	1	■								
富山県	2		■							
福島県	3			■						
群馬県	4				■					

7

都道府県名	No.	1	2	3	4	V	VI	TD	TR	PL
山口県	1	■								
栃木県	2		■							
大阪府	3			■						
新潟県	4				■					

8

都道府県名	No.	1	2	3	4	V	VI	TD	TR	PL
福井県	1	■								
和歌山県	2		■							
東京都	3			■						
宮城県	4				■					

9

都道府県名	No.	1	2	3	4	V	VI	TD	TR	PL
長崎県	1	■								
愛媛県	2		■							
茨城県	3			■						
島根県	4				■					

10

都道府県名	No.	1	2	3	4	V	VI	TD	TR	PL
石川県	1	■								
山梨県	2		■							
鳥取県	3			■						
青森県	4				■					

11

都道府県名	No.	1	2	3	4	V	VI	TD	TR	PL
佐賀県	1	■								
岡山県	2		■							
岩手県	3			■						
静岡県	4				■					

12

都道府県名	No.	1	2	3	4	V	VI	TD	TR	PL
長野県	1	■								
兵庫県	2		■							
福岡県	3			■						
香川県	4				■					

※V：団体勝数 VI：個人勝数 TD：突数 TR：被突数 PL：順位

フェンシング競技組合せ表

【 成年男子フルーレ 】

2回戦（各プール2チーム上がり）

①

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1								
	2								
	3								

②

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1								
	2								
	3								

③

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1								
	2								
	3								

④

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1								
	2								
	3								

⑤

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1								
	2								
	3								

⑥

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1								
	2								
	3								

⑦

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1								
	2								
	3								

⑧

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1								
	2								
	3								

※V：団体勝数

VI：個人勝数

TD：突数

TR：被突数

PL：順位

都道府県名	3回戦	準々決勝	準決勝	決勝
	(1)	(1)		
	(2)		(1)	
	(3)	(2)		
	(4)		(2)	(決) 決勝戦
	(5)	(3)		
	(6)		(1)の敗者	(3決) 3・4位決定戦
	(7)	(4)		
	(8)		(2)の敗者	(5決) 5・6位決定戦
		準々決勝(1)の敗者	(予1)	
		準々決勝(2)の敗者		
		準々決勝(3)の敗者	(予2)	
		準々決勝(4)の敗者		
			(予1)の敗者	(7決) 7・8位決定戦
			(予2)の敗者	

フェンシング競技組合せ表

【 成年女子フルーレ 】

1回戦（各プール2チーム上がり）

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
佐賀県	1	■							
京都府	2		■						
東京都	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
山口県	1	■							
秋田県	2		■						
長野県	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
岩手県	1	■							
熊本県	2		■						
和歌山県	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
群馬県	1	■							
北海道	2		■						
岐阜県	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
宮崎県	1	■							
香川県	2		■						
埼玉県	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
滋賀県	1	■							
福岡県	2		■						
千葉県	3			■					

2回戦（各プール2チーム上がり）

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1	■							
	2		■						
	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1	■							
	2		■						
	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1	■							
	2		■						
	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1	■							
	2		■						
	3			■					

※V：団体勝数 VI：個人勝数 TD：突数 TR：被突数 PL：順位

都道府県名	準々決勝	準決勝	決勝
	(1)	(1)	(決) — 決勝戦
	(2)	(2)	
	(3)	準決勝(1)の敗者	(3決) — 3・4位決定戦
	(4)	準決勝(2)の敗者	
	準々決勝(1)の敗者	(予1)	(5決) — 5・6位決定戦
	準々決勝(2)の敗者	(予2)	
	準々決勝(3)の敗者	(予1)の敗者	(7決) — 7・8位決定戦
	準々決勝(4)の敗者	(予2)の敗者	

フェンシング競技組合せ表

【 少年男子フルーレ 】

1回戦 (各プール2チーム上がり)

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
岡山県	1	■							
神奈川県	2		■						
佐賀県	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
島根県	1	■							
東京都	2		■						
香川県	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
大分県	1	■							
宮城県	2		■						
長野県	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
秋田県	1	■							
長崎県	2		■						
和歌山県	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
鹿児島県	1	■							
岐阜県	2		■						
富山県	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
埼玉県	1	■							
京都府	2		■						
北海道	3			■					

2回戦 (各プール2チーム上がり)

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1	■							
	2		■						
	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1	■							
	2		■						
	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1	■							
	2		■						
	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1	■							
	2		■						
	3			■					

※V：団体勝数 VI：個人勝数 TD：突数 TR：被突数 PL：順位

都道府県名	準々決勝	準決勝	決勝
	(1)	(1)	(決) — 決勝戦
	(2)	(2)	
	(3)	準決勝(1)の敗者	(3決) — 3・4位決定戦
	(4)	準決勝(2)の敗者	
	準々決勝(1)の敗者	(予1)	(5決) — 5・6位決定戦
	準々決勝(2)の敗者	(予2)	
	準々決勝(3)の敗者	(予1)の敗者	(7決) — 7・8位決定戦
	準々決勝(4)の敗者	(予2)の敗者	

フェンシング競技組合せ表

【 少年女子フルーレ 】

1回戦（各プール2チーム上がり）

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
北海道	1	■							
東京都	2		■						
香川県	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
佐賀県	1	■							
岐阜県	2		■						
和歌山県	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
岩手県	1	■							
群馬県	2		■						
京都府	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
愛知県	1	■							
大分県	2		■						
埼玉県	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
山口県	1	■							
宮城県	2		■						
愛媛県	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
長野県	1	■							
秋田県	2		■						
鹿児島県	3			■					

2回戦（各プール2チーム上がり）

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1	■							
	2		■						
	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1	■							
	2		■						
	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1	■							
	2		■						
	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1	■							
	2		■						
	3			■					

※V：団体勝数 VI：個人勝数 TD：突数 TR：被突数 PL：順位

都道府県名	準々決勝	準決勝	決勝
	(1)	(1)	(決) — 決勝戦
	(2)	(2)	
	(3)	準決勝(1)の敗者	(3決) — 3・4位決定戦
	(4)	準決勝(2)の敗者	
	準々決勝(1)の敗者	(予1)	(5決) — 5・6位決定戦
	準々決勝(2)の敗者	(予2)	
	準々決勝(3)の敗者	(予1)の敗者	(7決) — 7・8位決定戦
	準々決勝(4)の敗者	(予2)の敗者	

E p e e (エペ)



全身が有効面

[剣の重さ	770 g以下]
[剣の全長	110 cm以下]
[ガードから剣先まで	90 cm以下]
[ガードの直径	13.5 cm以下]

剣先には750 gの強さのバネが入っていて、これ以上の力で突くとランプが点灯します。ラピエールという決闘用剣の流れを受け継ぎ、昔ながらの三角形の剣身を持った、風格のある形をしています。

17世紀中頃、剣先で相手を突くだけの「エペ」という剣（術）が生まれました。それ以前は「ラピエール」という、「切って」も「突いて」もよい剣が使用されていました。エペの出現以来、急速に普及し、ラピエールにとって代わる剣術となりました。

エペは、正式の決闘武器として行われたものが競技化したもので、全身（頭から爪先）どこを突いても有効となり、色ランプがつき、突いた選手に得点が入ります。しかし、電気審判器の中に1/25秒のタイム差がセットされていて、このタイム差以内で両選手が「同時突き（Coup Double:クードゥーブル）」をすると両方の色ランプが点灯し、両選手に1ポイントずつ得点が与えられます。

全身が有効面で、また1/25秒差以内の素早い突きが要求されるため、試合運びの中に両選手の張り詰めた気迫が感じられるところがみどころといえるでしょう。

西洋の決闘では、自分の名誉を守るために行うので、相手に血を流させたら終わりです。その時、自分も血を流したら相打ちになるので、エペには相打ちの判定があるのです。

フェンシング競技組合せ表

【 成年男子エペ 】

1回戦（各プール2チーム上がり）

1

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
三重県	1	■							
長野県	2		■						
宮崎県	3			■					

2

都道府県名	No.	1	2	3	4	V	VI	TD	TR	PL
徳島県	1	■								
山形県	2		■							
茨城県	3			■						
岡山県	4				■					

3

都道府県名	No.	1	2	3	4	V	VI	TD	TR	PL
宮城県	1	■								
京都府	2		■							
東京都	3			■						
新潟県	4				■					

4

都道府県名	No.	1	2	3	4	V	VI	TD	TR	PL
佐賀県	1	■								
富山県	2		■							
福島県	3			■						
千葉県	4				■					

5

都道府県名	No.	1	2	3	4	V	VI	TD	TR	PL
高知県	1	■								
秋田県	2		■							
神奈川県	3			■						
愛知県	4				■					

6

都道府県名	No.	1	2	3	4	V	VI	TD	TR	PL
熊本県	1	■								
岐阜県	2		■							
奈良県	3			■						
栃木県	4				■					

7

都道府県名	No.	1	2	3	4	V	VI	TD	TR	PL
福井県	1	■								
和歌山県	2		■							
静岡県	3			■						
香川県	4				■					

8

都道府県名	No.	1	2	3	4	V	VI	TD	TR	PL
青森県	1	■								
山口県	2		■							
大分県	3			■						
山梨県	4				■					

9

都道府県名	No.	1	2	3	4	V	VI	TD	TR	PL
北海道	1	■								
滋賀県	2		■							
埼玉県	3			■						
福岡県	4				■					

10

都道府県名	No.	1	2	3	4	V	VI	TD	TR	PL
愛媛県	1	■								
兵庫県	2		■							
沖縄県	3			■						
鳥取県	4				■					

11

都道府県名	No.	1	2	3	4	V	VI	TD	TR	PL
大阪府	1	■								
島根県	2		■							
鹿児島県	3			■						
群馬県	4				■					

12

都道府県名	No.	1	2	3	4	V	VI	TD	TR	PL
広島県	1	■								
岩手県	2		■							
長崎県	3			■						
石川県	4				■					

※ V : 団体勝数 VI : 個人勝数 TD : 突数 TR : 被突数 PL : 順位

フェンシング競技組合せ表

【 成年男子エペ 】

2回戦（各プール2チーム上がり）

①

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1	■							
	2		■						
	3			■					

②

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1	■							
	2		■						
	3			■					

③

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1	■							
	2		■						
	3			■					

④

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1	■							
	2		■						
	3			■					

⑤

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1	■							
	2		■						
	3			■					

⑥

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1	■							
	2		■						
	3			■					

⑦

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1	■							
	2		■						
	3			■					

⑧

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1	■							
	2		■						
	3			■					

※V：団体勝数

VI：個人勝数

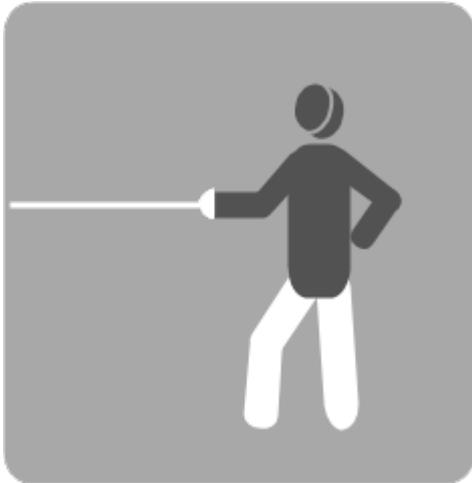
TD：突数

TR：被突数

PL：順位

都道府県名	3回戦	準々決勝	準決勝	決勝
	(1)	(1)	(1)	(決) 決勝戦
	(2)	(2)	(2)	
	(3)	(3)	(2)	
	(4)	(4)	(2)	
	(5)		準決勝(1)の敗者	(3決) 3・4位決定戦
	(6)		準決勝(2)の敗者	
	(7)		(予1)	(5決) 5・6位決定戦
	(8)		(予2)	
		準々決勝(1)の敗者	(予1)の敗者	(7決) 7・8位決定戦
		準々決勝(2)の敗者	(予2)の敗者	
		準々決勝(3)の敗者		
		準々決勝(4)の敗者		

S a b r e (サーブル)



[剣の重さ	500 g 以下]
[剣の全長	105 cm 以下]
[ガードから剣先まで	88 cm 以下]
[ガードの直径	縦 15 cm 以下 横 14 cm 以下]
[ガードの深さ	15 cm 以下]

剣身は扁平で刃がついており、いわゆる「みね」の部分も剣先1/3が裏刃になっていて、その「刃」の部分で切れば有効となります。

● 部分が有効面

サーブルは、他の2種目とは異なり、その昔、ウラル山脈地域の騎馬民族が行っていた剣術で、9世紀に今のハンガリーに根を降ろしました。フランス等西ヨーロッパ諸国ではあまり普及しませんでした。馬上の剣術として19世紀にイタリアにおいて、現在見られる形式が出来あがりました。

馬上で行う軍刀術がスポーツ化したもので、他の2種目と異なり切りが主体ですが、突きもできる競技です。従来は男子だけが行っていましたが、世界選手権大会でも女子の部が開催されるようになり、2001年の高知大会から正式に女子の部も行われています。

サーブルにも、有効面と無効面があります。有効面は選手の腰から上の部分で、頭・両腕も含まれます。これは、昔、戦いのときに相手の馬を傷つけることを避けるために、腰から下は攻めなかったことから来ています。

判定は、電気審判器を用いています。フルーレ同様細かな規則が決められているため、攻撃権の取り合い、防御の方法等が判定に影響します。

サーブルのおもしろさは、激しい動き、そして豪快な切り合いにあります。

フェンシング競技組合せ表

【 成年女子サーブル 】

1回戦（各プール2チーム上がり）

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
秋 田 県	1	■							
宮 崎 県	2		■						
東 京 都	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
山 口 県	1	■							
岩 手 県	2		■						
福 岡 県	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
滋 賀 県	1	■							
北 海 道	2		■						
埼 玉 県	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
岐 阜 県	1	■							
香 川 県	2		■						
千 葉 県	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
佐 賀 県	1	■							
京 都 府	2		■						
群 馬 県	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
長 野 県	1	■							
和 歌 山 県	2		■						
熊 本 県	3			■					

2回戦（各プール2チーム上がり）

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1	■							
	2		■						
	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1	■							
	2		■						
	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1	■							
	2		■						
	3			■					

都道府県名	No.	1	2	3	V	VI	TD	TR	PL
	1	■							
	2		■						
	3			■					

※V：団体勝数 VI：個人勝数 TD：突数 TR：被突数 PL：順位

都道府県名	準々決勝	準決勝	決勝
	(1)	(1)	(決) — 決勝戦
	(2)	(2)	
	(3)	準決勝(1)の敗者	(3決) — 3・4位決定戦
	(4)	準決勝(2)の敗者	
	準々決勝(1)の敗者	(予1)	(5決) — 5・6位決定戦
	準々決勝(2)の敗者	(予2)	
	準々決勝(3)の敗者	(予1)の敗者	(7決) — 7・8位決定戦
	準々決勝(4)の敗者	(予2)の敗者	

フェンシング用語

一般的なことから

1 エスクリム

フランス語でフェンシングのこと。

フェンシングでは、フランス語が公用語として使用されており、近年、英語、スペイン語も公用語に加わりました。

2 プール

リーグ形式の総当たり戦のこと。

3 マッチ

2選手間の対戦で記録を取る場合、マッチと言います。

4 ランコントル

異なるチームの選手間による対戦(チーム・マッチ)をランコントルと言います。

5 ピスト

競技用コートのこと。大会では8ピストが設置されます。(幅1.5m～2.0m、長さ14m、予備ゾーン4mを入れて計18mのピストが多い)

6 エリミナション・ディレクト

トーナメント形式の試合のこと。

7 ファイナル

決勝戦のこと。

8 ディレクトワール・テクニーク(DT)

技術委員会のこと。

競技を実際に運営していく上での最高機関で、大会では技術委員の合議によって、試合の組合せ、競技の進行、審判員の指名、ルール上の事、ルール以外の問題などが決定されます。

9 プレジダン・ド・ジュリー

主審のこと。

主審は、マッチの前に選手の武器・服装・用具や審判器等を検査します。そして、マッチを指揮し、選手に違反があれば罰し、またマッチをフルール・エペ・サーブルそれぞれのルールに従って判定し、トウシュを与えます。最後にマッチの勝敗を決めます

10 アセスール

副審のこと。

決勝戦においては、主審だけでなく2名の副審が義務付けられています。武器を持っていない手や腕の使用、正当な有効面の代用、ピストの側面や後方への踏み出し、エペで床上にて得点したトウシュ、又は競技規則に規定されているその他の違反を監視します。

11 略称

V「勝ち(ビクトワール)」、D「負け(デフェット)」、TD「突数(突いた数。トウシュ・ドネ)」、TR「被突数(突かれた数。トウシュ・ルウス)」

12 バラージュ

上位進出者を決めるための決定戦のこと。

試合の中での主審の言葉について

1 サリュウ

「挨拶せよ」という意味で、選手は試合の前後に相手以外に審判、観客席の方向に剣で挨拶をすることが義務付けられています。

2 アン・ガルド

試合を始めるとき主審は「アン・ガルド」(構えて)と号令をかけます。そのあと、「プレ？」(用意はいいか?)と聞きます。それに対して選手は「ウィ(はい)」か「ノン(いいえ)」の返答をします。選手から「ウィ」の返答があるかノンの返答がない限り、主審は「アレ」と言います。意味は「始め」です。また、試合を止めるときに、主審は「アルト」と言います。意味は「止め」です。

3 トウシュ

「突き」という意味です。突きを受けた選手側に手でトウシュ(以前はトウシェ)を示します。

4 ノン

トウシュが無いこと。

5 ポアン

得点を挙げた選手側の手を上にあげて1得点を示します。

6 ノン・ヴァラブル

「無効面」の意味で、例えばフルーレで突きが無効面に入ると白ランプがつき、得点にはならず、その後の全ての突きが無効になります。

7 アタック・シミュルタネー

双方の選手が「同時に攻撃した」という意味で、フルーレとサーブルの場合は、双方に色ランプがついても得点にはなりません。ただし、エペの場合は「クー・ドゥブル」(同時突き)と言って、双方に1点ずつ得点が加算されます。

8 クー・ドゥブル

「同時にトウシュした」という意味でフルーレ、サーブルではルールに基づいてどちらに優先権があるか判定します。エペでは双方に1点ずつ得点が加算されます。

9 リニュー

フルーレ・サーブルでポアンが相手の有効面を脅かしている状態。攻撃者が攻撃する時はあらかじめ相手の剣を排除してから始めなければなりません。以前はポアント・アン・リニュー、その前はアン・リニューとっていました。

10 パド・トウシュ

「両者に得点になるトウシュがないこと」を意味します。

11 シェル・ラ・プレパティオン

アタック側の準備動作中になされた相手のアタックやアレの動作。審判は腕を曲げた動作で(以前のノン・コレクト)表します。

12 コル・ア・コル

「身体と身体が接触した」という意味で、フルーレ・サーブルでは、試合を止めなければなりません。また、暴力や乱暴な行為がなければ、違反にも罰則にもなりません。

13 パラード

相手の攻撃を剣で防御すること。その後の動作を無効にするためには腕を引くことなく、直ちに行わねばなりません。

14 リポスト

パラードに次ぐ攻撃のこと。

15 アヴァン・タレ

「始めの合図の前に起こした動作」という意味で、たとえトウシュが入ったとしても得点にはならず、無効になります。

16 アプレ・アルト

「止めの合図の後に起こした動作」という意味で、たとえトウシュが入ったとしても得点にはならず、無効になります。

17 ヴァンカー

「勝利者」という意味で、試合が終了すると審判が勝利した方の選手に向けて、手を挙げてヴァンカーと勝利者を決定しスコアを言います。

審判員のジェスチャーと号令



選手にアン・ガルドのポジションをとらせるために



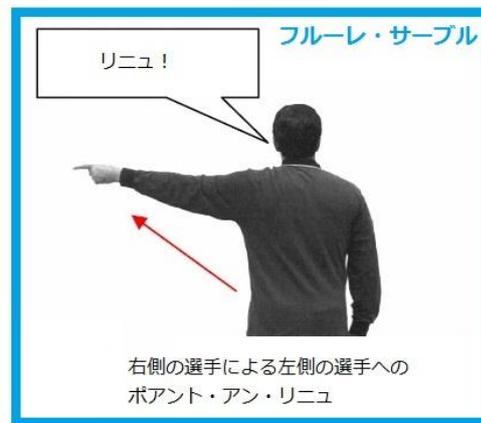
選手が準備ができているか知るために



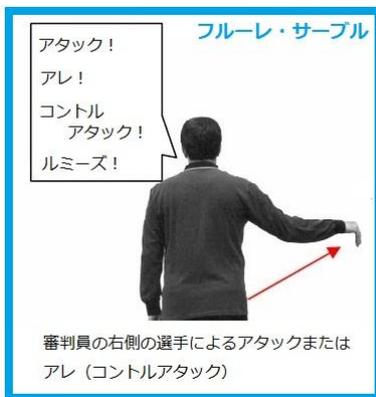
試合を開始または再開させるために



審判員の右側の選手が原因でトウシュ前に試合を止めるため有効面または無効面にトウシュがあった場合は手を挙げずに号令のみ



右側の選手による左側の選手へのポアント・アン・リニュー



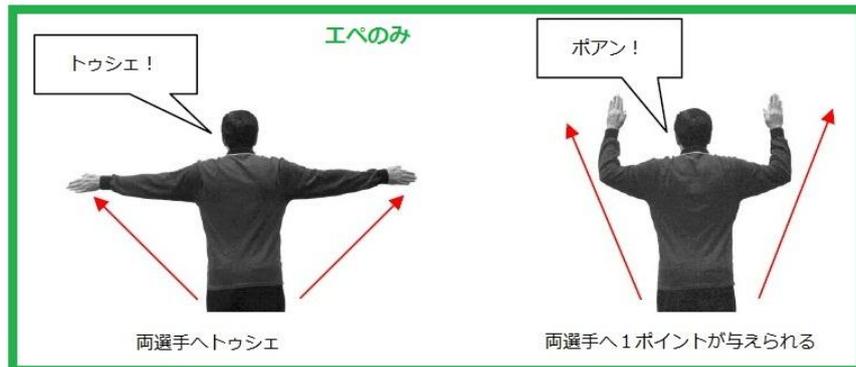
審判員の右側の選手によるアタックまたはアレ (コントロールアタック)



審判員の左側にいる選手がトゥシェを宣言される



審判員の右側にいる選手に1ポイントが与えられる



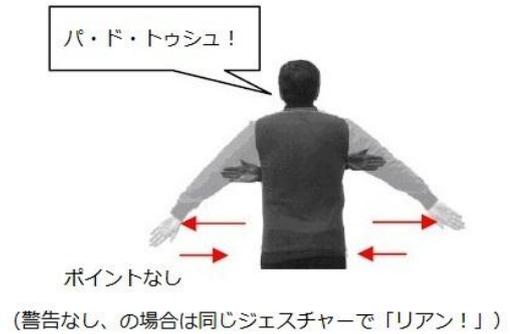
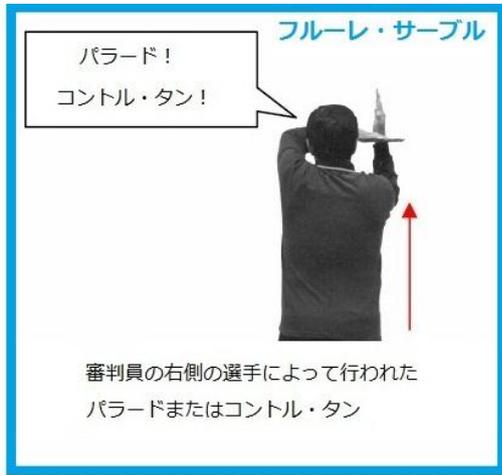
両選手ヘトゥシェ



両選手ヘ1ポイントが与えられる



審判員の左側にいる選手の無効面になされたトウシュ



カルトン・ジョンヌ: アヴェルティスマン
カルトン・ルーシュ: ユヌ・トゥシュ・コントロール
カルトン・ノワール: エクスクルージョン



イエローカード: 警告
レッドカード: 相手に1ポイント
ブラックカード: 退場

審判員が出すカードの色は右側の選手による違反を示し、
それに対応する罰則の内容を提示する



勝者: マッチまたはランコントロールの終了に際し、
審判員は勝者の名前とスコアを言う。
選手はピストの中央に留まる。

注記:

- (1) 審判員はフレーズ・ダルムを分析し、上記のジェスチャーと用語で判定を告げる。
- (2) フレーズ・ダルムに従い、審判員はジェスチャーを伴わずに「リポスト」「コントロール・リポスト」の用語を使用する。「アタック」のジェスチャーは「ルミーズ」「ルプリーズ」「ルドゥルブマン」にも使用する。
- (3) 選手は審判員に対し礼儀正しい態度で、フレーズ・ダルムのより完全な分析を求めることができる。
- (4) 各ジェスチャーは一定時間(1秒~2秒)持続され、かつ正確に行われなければならない。ここで示されているジェスチャーは審判員の右側にいる選手を対象としている。

都道府県別参加人数一覧表

地区	番号	都道府県	成年男子			成年女子			少年男子		少年女子		合計			総計
			監督		選手	監督		選手	監督 専任	選手	監督 専任	選手	監督		選手	
			専任	兼任		専任	兼任						専任	兼任		
北 東北	1	北海道		(1)	3		(1)	3	1	3	1	3	2	(2)	12	14
	2	青森県		(1)	3									(1)	3	3
	3	岩手県		(1)	3		(1)	3			1	3	1	(2)	9	10
	4	宮城県		(1)	3				1	3	1	3	2	(1)	9	11
	5	秋田県		(1)	3		(1)	3	1	3	1	3	2	(2)	12	14
	6	山形県		(1)	3									(1)	3	3
	7	福島県		(1)	3									(1)	3	3
関東	8	茨城県		(1)	3									(1)	3	3
	9	栃木県		(1)	3									(1)	3	3
	10	群馬県		(1)	3		(1)	3			1	3	1	(2)	9	10
	11	埼玉県		(1)	3		(1)	3	1	3	1	3	2	(2)	12	14
	12	千葉県		(1)	3		(1)	3						(2)	6	6
	13	東京都		(1)	3		(1)	3	1	3	1	3	2	(2)	12	14
	14	神奈川県		(1)	3				1	3			1	(1)	6	7
15	山梨県		(1)	3									(1)	3	3	
北信越	16	新潟県		(1)	3									(1)	3	3
	17	長野県		(1)	3		(1)	3	1	3	1	3	2	(2)	12	14
	18	富山県		(1)	3				1	3			1	(1)	6	7
	19	石川県		(1)	3									(1)	3	3
	20	福井県		(1)	3									(1)	3	3
東海	21	静岡県		(1)	3									(1)	3	3
	22	愛知県		(1)	3					1	3	1	(1)	6	7	
	23	三重県		(1)	3									(1)	3	3
	24	岐阜県		(1)	3		(1)	3	1	3	1	3	2	(2)	12	14
近畿	25	滋賀県		(1)	3		(1)	3						(2)	6	6
	26	京都府		(1)	3		(1)	3	1	3	1	3	2	(2)	12	14
	27	大阪府		(1)	3									(1)	3	3
	28	兵庫県		(1)	3									(1)	3	3
	29	奈良県		(1)	3									(1)	3	3
	30	和歌山県		(1)	3		(1)	3	1	3	1	3	2	(2)	12	14
中国	31	鳥取県		(1)	3									(1)	3	3
	32	島根県		(1)	3				1	3			1	(1)	6	7
	33	岡山県		(1)	3				1	3			1	(1)	6	7
	34	広島県		(1)	3									(1)	3	3
	35	山口県		(1)	3		(1)	3			1	3	1	(2)	9	10
四国	36	香川県		(1)	3		(1)	3	1	3	1	3	2	(2)	12	14
	37	徳島県		(1)	3									(1)	3	3
	38	愛媛県		(1)	3					1	3	1	(1)	6	7	
	39	高知県		(1)	3									(1)	3	3
九州	40	福岡県		(1)	3		(1)	3						(2)	6	6
	41	佐賀県		(1)	3		(1)	3	1	3	1	3	2	(2)	12	14
	42	長崎県		(1)	3				1	3			1	(1)	6	7
	43	熊本県		(1)	3		(1)	3						(2)	6	6
	44	大分県		(1)	3				1	3	1	3	2	(1)	9	11
	45	宮崎県		(1)	3		(1)	3						(2)	6	6
	46	鹿児島県		(1)	3				1	3	1	3	2	(1)	9	11
47	沖縄県		(1)	3									(1)	3	3	
合計				(47)	141		(18)	54	18	54	18	54	36	(65)	303	339

※ 選手兼任監督の人数は、監督の「兼任」欄に記入し、選手数としてカウントする。

参加監督・選手一覧表

成 年 男 子							
番号	都道府県	ゼッケン	監督／兼任	ゼッケン	選 手	ゼッケン	選 手
1	北海道	1011	阿部陽馬	1012	水牧拓夢	1013	奥本龍一
2	青森県	1021	坪 颯馬	1022	菅谷優斗	1023	柏崎瑞仁
3	岩手県	1031	千田圭	1032	福田悠雅	1033	佐藤良慶
4	宮城県	1041	齋藤有	1042	淡路卓	1043	佐々木涼真
5	秋田県	1051	松井公章	1052	安部慶輝	1053	大塚昂輝
6	山形県	1061	戸田顕崇	1062	青柳雄大	1063	峯田大空
7	福島県	1071	高橋恋	1072	菅野慶嗣	1073	高木大夢
8	茨城県	1081	山田森太郎	1082	宇都木勇輝	1083	石井勇多
9	栃木県	1091	萩原宏樹	1092	武井琉晟	1093	吉成海之亮
10	群馬県	1101	小林勇気	1102	中島直輝	1103	関原麗允
11	埼玉県	1111	小野真英	1112	浅海聖哉	1113	高橋未楽
12	千葉県	1121	小田隆介	1122	伊藤悠治	1123	中澤正成
13	東京都	1131	新田啓人	1132	井神俊兵	1133	敷根崇裕
14	神奈川県	1141	中村豪	1142	中島恒	1143	坂藤秀昌
15	山梨県	1151	大村貴之	1152	石川凌雅	1153	高椋董依
16	新潟県	1161	平野良樹	1162	古俣聖	1163	稲垣恵人
17	長野県	1171	河西遼太	1172	河西駿介	1173	西藤俊哉
18	富山県	1181	田辺空我	1182	佐野航琉	1183	藤野正真
19	石川県	1191	竹内凱	1192	太田匡哉	1193	岩鍛治司
20	福井県	1201	徳南堅太	1202	見延和靖	1203	阪野弘和
21	静岡県	1211	杉山良徳	1212	鈴木翔	1213	藤枝優人
22	愛知県	1221	太田拓輝	1222	河村一摩	1223	弓長昇主
23	三重県	1231	山田優	1232	小久保真旺	1233	ウエディンハ ジュン
24	岐阜県	1241	鈴村健太	1242	馬場俊輔	1243	伊藤拓真
25	滋賀県	1251	福山恭平	1252	中力亮	1253	宿院徳真
26	京都府	1261	田中風舞	1262	飯村一輝	1263	西村啓佑
27	大阪府	1271	野村大慈	1272	山本大起	1273	安田和真
28	兵庫県	1281	山本翔磨	1282	大竹諒	1283	大坂真脩
29	奈良県	1291	太田聡	1292	仲啓志	1293	堀内信吾
30	和歌山県	1301	山口改	1302	太田航輔	1303	西口泰嵩
31	鳥取県	1311	大阪立	1312	小西玄泰	1313	田中宏和
32	島根県	1321	石原雄平	1322	田中湊	1323	藤原大二朗
33	岡山県	1331	難波憲士郎	1332	青木優	1333	増田陽人
34	広島県	1341	堀本達郎	1342	清胤慶英	1343	谷本静哉
35	山口県	1351	菊池正太郎	1352	中本尚志	1353	加納虹輝
36	香川県	1361	前田雄亮	1362	吉田壮志	1363	松浦碧也
37	徳島県	1371	久木直人	1372	森下創太	1373	三木稜大
38	愛媛県	1381	三好修平	1382	新田涼平	1383	Bewernick Douglas Edward Jr.
39	高知県	1391	池上孝	1392	宮田拓海	1393	山本絢士
40	福岡県	1401	木村芳徳	1402	村山貴亮	1403	宮崎孝司郎
41	佐賀県	1411	古田育男	1412	伊藤心	1413	齊藤憲司
42	長崎県	1421	濱根尚和	1422	山田浩司	1423	鈴木修平
43	熊本県	1431	舩本誠志郎	1432	道脇啓太	1433	尾川世我
44	大分県	1441	大石利樹	1442	上野優斗	1443	中村太郎
45	宮崎県	1451	小熊涼太	1452	黒木優	1453	山本航士郎
46	鹿児島県	1461	林祥蓮	1462	吉弘航平	1463	鎌田晃成
47	沖縄県	1471	仙葉恭輔	1472	田村優治	1473	嘉手川重吾

9月4日参加申込締切日時点

成 年 女 子															
番号	都道府県	ゼッケン	監督／兼任		ゼッケン	選 手		ゼッケン	選 手						
1	北海道	2011	神	山	天	音	2012	井	下	玲	菜	2013	泉	澤	カンナ
2	岩手県	2031	千	葉	朱	夏	2032	菊	地	心	和	2033	千	葉	穂波
3	秋田県	2051	高	橋	風	子	2052	成	田	実	礼	2053	長	崎	昇子
4	群馬県	2101	吉	澤	千	恵	2102	田	村	紀	佳	2103	笠	原	佳姫
5	埼玉県	2111	伊	達		京	2112	小	野	瑞	葵	2113	板	橋	香菜子
6	千葉県	2121	河	崎	千	尋	2122	山	崎	妃	奈乃	2123	亀	川	満里菜
7	東京都	2131	重	藤	美	紀	2132	向	江	彩	伽	2133	金	子	優衣奈
8	長野県	2171	土	佐	千	乃	2172	松	川	琴	音	2173	小	池	花佳
9	岐阜県	2241	伊	藤	真	希	2242	辻		すみれ		2243	長	瀬	凜乃
10	滋賀県	2251	矢	幡	侑	菜	2252	木	村	毬	乃	2253	松	本	璃音
11	京都府	2261	竹	澤	志	緒里	2262	竹	山	柚	葉	2263	飯	村	彩乃
12	和歌山県	2301	九	野	桃	佳	2302	岩	本	鈴	菜	2303	稲	田	椋
13	山口県	2351	鈴	木	は	な	2352	木	村		結	2353	岡	原	真琴
14	香川県	2361	黒	田	ほ	のか	2362	後	藤	千	里	2363	植	村	紀香
15	福岡県	2401	笠		紗	彩	2402	福	島	史	帆実	2403	高	橋	千里香
16	佐賀県	2411	雨	田	由	香	2412	佐	野	佑	衣	2413	高	嶋	理紗
17	熊本県	2431	森		美	奈子	2432	菊	池	小	巻	2433	中	山	真希
18	宮崎県	2451	小	田	み	はる	2452	太	田	朱	音	2453	谷	口	真麻

少 年 男 子											
番号	都道府県	監督	ゼッケン	選 手	ゼッケン	選 手	ゼッケン	選 手			
1	北海道	雨尾保典	3011	阿部磨郁	3012	光川眞生	3013	阿部将斗			
2	宮城県	千葉尚汰	3041	清原崇史	3042	菅原史晴	3043	初貝柊哉			
3	秋田県	安部欣哉	3051	横山孝太朗	3052	津谷龍星	3053	板橋心大			
4	群馬県	小島正也	3111	小林橘平	3112	鈴木哲矢	3113	田代圭			
5	東京都	福田佑輔	3131	田中拓進	3132	小笠原心	3133	藤井千波			
6	神奈川県	濱野理	3141	戸島悠翔	3142	千葉忠輝	3143	幸田朋優			
7	長野県	木下布美子	3171	小池悠太郎	3172	有賀尚迪	3173	遠藤雅虎			
8	富山県	高木陽介	3181	石川陸斗	3182	前田迅理	3183	中町謙太			
9	岐阜県	西脇一徳	3241	金城瞬人	3242	石橋遼大	3243	吉田京雅			
10	京都府	西村拓也	3261	小野凌駕	3262	湯浅柊哉	3263	前田哲成			
11	和歌山県	戸口満友	3301	陰地翔太	3302	横田和馬	3303	近藤竜平			
12	島根県	渡辺大介	3321	椿琉衣	3322	村田煌牙	3323	浜田久行			
13	岡山県	田上桂子	3331	阿部大真	3332	板野晟河	3333	松崎光惺			
14	香川県	國金直剛	3361	後藤正人	3362	板東由眞	3363	奥山壘			
15	佐賀県	杠星哉	3411	中山太陽	3412	山下竜輝	3413	岩永陸椰			
16	長崎県	四元純一	3421	四元暖	3422	八木瑛祐	3423	橋口偉央理			
17	大分県	大石峻司	3441	河野拓海	3442	久士目翼	3443	橋本翔真			
18	鹿児島県	東裕二	3461	上出桐	3462	白男川瞬	3463	安武龍杜			

少 年 女 子											
番号	都道府県	監督	ゼッケン	選 手	ゼッケン	選 手	ゼッケン	選 手			
1	北海道	稲田希美	4011	井下愛莉	4012	為永香音	4013	河村瞳			
2	岩手県	田村明	4031	小野寺里穂	4032	八端あかね	4033	小野寺結菜			
3	宮城県	山下あゆみ	4041	兵藤里林	4042	佐藤穂花	4043	井出とうこ			
4	秋田県	伊藤聡	4051	鈴木葵依	4052	齋藤香都	4053	成田和叶			
5	群馬県	砂山雄一郎	4101	笠原怜姫	4102	安原愛菜	4103	加藤里菜			
6	埼玉県	西村典子	4111	藤井礼遊	4112	佐藤ひな子	4113	澤海陽菜			
7	東京都	馬場絢子	4131	久保田未織乃	4132	重藤春香	4133	谷村星奈			
8	長野県	大槻智哉	4171	春田友菜	4172	五味恋菜	4173	縣ほのか			
9	愛知県	加藤玄	4221	高橋ひなた	4222	木村春香	4223	緒方彩七			
10	岐阜県	村瀬さゆり	4241	市ヶ谷奈々	4242	加藤璃紗	4243	村瀬あかり			
11	京都府	池端花奈恵	4261	竹山夏芽	4262	清水菜乃	4263	今村文音			
12	和歌山県	後藤真徳	4301	鶴本翠	4302	新田美亜紀	4303	南方希美			
13	山口県	山田論志	4351	古賀万結	4352	泉穂乃香	4353	七五三心夏			
14	香川県	蓮井陽菜	4361	山畑花乃子	4362	高木優希	4363	横井癒舞			
15	愛媛県	佐々木聖	4381	周藤美月	4382	今城姫桜	4383	西山晴葵			
16	佐賀県	野本尚子	4411	一瀬桜	4412	久家なつめ	4413	西川日湖			
17	大分県	佐藤麻依子	4441	岡田風花	4442	西山花桜	4443	藤野美咲			
18	鹿児島県	大坪昭仁	4461	桐木平乃愛	4462	萱島朝香	4463	渡邊文珂			

9月4日参加申込締切日時点

綜合成績決定方法

男女綜合成績（天皇杯得点）及び女子綜合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競技得点
成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	成年女子 少年女子	各種目とも1位 24点、2位 21点、3位 18点、4位 15点、5位 12点、6位 9点、7位 6点、8位 3点の競技得点を与える。

(2) 参加得点

大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に10点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

表彰

- (1) 男女綜合成績及び女子綜合成績第1位から第8位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- (2) 男女綜合成績第1位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 少年男子、少年女子の各種別及び成年男子・成年女子の各種目の第1位から第8位までに、賞状を授与する。

栄光の記録 国民体育大会年次別成績表一覽

種別	大会名		第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回
	種目/開催地	種目/開催地	東京	愛知	広島	福島	愛媛	北海道	神奈川	兵庫	静岡	富山	東京	熊本	秋田
総合												東京	神奈川	京都	神奈川
一男団	フルーレ	東京	京都	東京	福島	東京	埼玉	神奈川	福島	福島					
	エペ	東京	東京	東京	神奈川	静岡	京都	神奈川	福島	東京				東京	神奈川
	サーブル	千葉	東京	千葉	東京	千葉	福島	群馬	山梨	静岡					
一男個	フルーレ	(宮城)中島英一	(東京)中村栄太郎	(佐賀)内山茂	(福島)遠藤国一郎	(千葉)織田毅	(東京)廣瀬康夫					(東京)船水光行	(宮城)千葉卓朗	(京都)田淵和彦	(京都)田淵和彦
	エペ	(東京)池内一郎	(東京)池内一郎	(東京)池内一郎	(京都)鈴木悠蔵	(静岡)中原富賀美	(東京)船水光行					(東京)船水光行	(東京)小沢嗣央	(京都)田淵和彦	(山梨)奥秋和彦
	サーブル	(東京)須郷智	(京都)高野通俊	(東京)高野通俊	(東京)白井宗光	(東京)白井宗光	(静岡)中原富賀美					(静岡)中原富賀美	(大阪)井上憲治	(静岡)中原富賀美	(愛知)山下将
女子	フルーレ	(東京)鈴木君子	(京都)太田香苗	(東京)飯田美枝子	(東京)鈴木君子	(東京)鈴木君子	(東京)新田達子	東京	(東京)新田達子	(宮城)吉野美賀子	(東京)竹内由江	(宮城)大和田智子	(宮城)大和田智子	(愛知)神谷宣子	
高団	校体	フルーレ		(宮城)仙台高校	(京都)洛陽高校	(東京)明治高校	宮城チーム	愛知							
高個	校人			(宮城)石橋和夫	(千葉)柏木啓介	(神奈川)山本基寛	(神奈川)藤原悦馬		(愛知)榑原勇一	(愛知)山口剛志	(愛知)長縄文男	(京都)林涼一 (神奈川)内畑礼子	(神奈川)伊藤輝男 (富山)保井多美子	(東京)土井章 (宮城)神馬加寿子	

種別	大会名		第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回
	種目/開催地	種目/開催地	岡山	山口	新潟	岐阜	大分	埼玉	福井	長崎	岩手	和歌山	鹿児島	千葉	茨城
総合			愛知	神奈川	神奈川・山口	岐阜	東京	東京	京都	東京	東京	和歌山	愛知	東京	茨城東京
男団	フルーレ	愛知	山口	山口	岐阜	東京	東京	大阪	東京	東京	千葉	愛知	秋田	東京	東京
	エペ	北海道	神奈川	山口	埼玉	埼玉	埼玉	神奈川	東京	大阪	埼玉	東京	埼玉	東京	福井
	サーブル	神奈川	神奈川	山口	岐阜	京都	静岡	京都	京都	京都	愛知	千葉	千葉	東京	東京
女子	フルーレ	東京	宮城	宮城	北海道	東京	東京	愛知	東京	岐阜	秋田	秋田	東京	秋田	秋田
高校	フルーレ	愛知	愛知	愛知	福井	宮城	東京	福井	秋田	秋田	和歌山	大阪	東京	秋田	秋田

種別	大会名		第30回	第31回	第32回	第33回	第34回	第35回	第36回	第37回	第38回	第39回	第40回	第41回	第42回
	種目/開催地	種目/開催地	三重	佐賀	青森	長野	宮崎	栃木	滋賀	島根	群馬	奈良	鳥取	山梨	沖縄
総合			秋田	秋田	東京	秋田	秋田	秋田	滋賀	群馬	群馬	奈良	和歌山	山梨	和歌山
成年男子	フルーレ	福井	群馬	福井	千葉	埼玉	青森	滋賀	群馬	秋田	秋田	山梨	鳥取	山梨	和歌山
	エペ	三重	北海道	福井	埼玉	千葉	埼玉	滋賀	茨城	千葉	鳥取	鳥取	山梨	山梨	和歌山
	サーブル	東京	茨城	東京	東京	埼玉	東京	東京	長野	群馬	奈良	山梨	山梨	東京	
成年女子	フルーレ	秋田	東京	東京	和歌山	東京	千葉	和歌山	和歌山	和歌山	奈良	和歌山	山梨	和歌山	
少年男子	フルーレ	茨城	宮城	秋田	長野	秋田	秋田	鹿児島	宮城	鹿児島	千葉	埼玉	秋田	群馬	
少年女子	フルーレ	秋田	秋田	長崎	秋田	秋田	栃木	秋田	東京	東京	宮城	岐阜	秋田	東京	

種別	大会名		第43回	第44回	第45回	第46回	第47回	第48回	第49回	第50回	第51回	第52回	第53回	第54回	第55回
	種目/開催地	種目/開催地	京都	北海道	福岡	石川	山形	香川	愛知	福島	広島	大阪	神奈川	熊本	富山
総合			和歌山	和歌山	和歌山	石川	岐阜	和歌山	和歌山	福島	大分	大分	鹿児島	岐阜	和歌山
成年男子	フルーレ	山梨	山梨	和歌山	秋田	和歌山	香川	秋田	和歌山	大分	東京	山形	和歌山	和歌山	和歌山
	エペ	京都	和歌山	東京	島根	徳島	山形	大分	宮城	京都	京都	鳥根	鳥根	岡山	
	サーブル	東京	東京	石川	東京	東京	香川	徳島	大分	東京	大阪	東京	大分	東京	
成年女子	フルーレ	東京	秋田	石川	石川	和歌山	香川	山梨	愛知	和歌山	大分	大阪	山梨	大阪	
少年男子	フルーレ	秋田	岐阜	群馬	和歌山	岐阜	山形	和歌山	富山	埼玉	富山	鹿児島	岐阜	福島	
少年女子	フルーレ	埼玉	和歌山	和歌山	岐阜	香川	栃木	岐阜	香川	香川	大分	鹿児島	山形	岐阜	

種別	大会名		第56回	第57回	第58回	第59回	第60回	第61回	第62回	第63回	第64回	第65回	第66回	第67回	第68回
	種目/開催地	種目/開催地	宮城	高知	静岡	埼玉	岡山	兵庫	秋田	大分	新潟	千葉	山口	岐阜	東京
総合			大分	秋田	岐阜	大分	岐阜	秋田	大分・和歌山	岐阜	岐阜	岐阜	岐阜・大分	岐阜	東京
成年男子	フルーレ	京都	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	神奈川	神奈川	京都	和歌山	熊本	秋田	埼玉	東京	東京
	エペ	熊本	熊本	大分	岡山	岡山	和歌山	大分		新潟		香川			新潟
	サーブル	東京	東京	東京	岐阜	福島	東京	大分	岐阜		群馬			東京	
成年女子	フルーレ	大阪	大阪	宮城	埼玉	山形	宮城	秋田	和歌山	群馬	京都	大阪	和歌山	和歌山	和歌山
	エペ								静岡		香川		群馬		
	サーブル									大阪		岐阜		山形	
少年男子	フルーレ	青森	秋田	神奈川	神奈川	東京	京都	秋田	神奈川	京都	岐阜	大分	岐阜	東京	
少年女子	フルーレ	群馬	宮城	福井	和歌山	和歌山	和歌山	富山	岐阜	愛媛	大分	秋田	岐阜	東京	

栄光の記録 国民体育大会年次別成績表一覧

種 別	大会名	第69回	第70回	第71回	第72回	第73回	第74回	第75回	第76回	第77回	特別	第78回	第79回	第80回
	種目／開催地	長崎	和歌山	岩手	愛媛	福井	茨城	鹿児島	三重	栃木	鹿児島	佐賀	滋賀	青森
総 合		大分	東京	岐阜	東京	岐阜	岐阜	延期	中止	京都	秋田			
成年男子	フルーレ	大分	東京	岩手	岩手	秋田	秋田			大分	大分			
	エ ペ		群馬		大分		三重							
	サーブル	東京		東京		福井				三重	東京			
成年女子	フルーレ	大阪	熊本	熊本	岐阜	東京	和歌山			和歌山	京都			
	エ ペ	大分		宮城		福井				京都	福井			
	サーブル		東京		大阪		鹿児島							
少年男子	フルーレ	東京	岐阜	岐阜	大分	神奈川	岐阜			京都	神奈川			
少年女子	フルーレ	和歌山	和歌山	和歌山	和歌山	京都	京都			東京	東京			

種 別	大会名	第81回	第82回	第83回	第84回	第85回	第86回	第87回	第88回	第89回	第90回	第91回	第92回	第93回
	種目／開催地													
総 合														
成年男子	フルーレ													
	エ ペ													
	サーブル													
成年女子	フルーレ													
	エ ペ													
	サーブル													
少年男子	フルーレ													
少年女子	フルーレ													

種 別	大会名	第94回	第95回	第96回	第97回	第98回	第99回	第100回	第101回	第102回	第103回	第104回	第105回	第106回
	種目／開催地													
総 合														
成年男子	フルーレ													
	エ ペ													
	サーブル													
成年女子	フルーレ													
	エ ペ													
	サーブル													
少年男子	フルーレ													
少年女子	フルーレ													

種 別	大会名	第107回	第108回	第109回	第110回	第111回	第112回	第113回	第114回	第115回	第116回	第117回	第118回	第119回
	種目／開催地													
総 合														
成年男子	フルーレ													
	エ ペ													
	サーブル													
成年女子	フルーレ													
	エ ペ													
	サーブル													
少年男子	フルーレ													
少年女子	フルーレ													

種 別	大会名	第120回	第121回	第122回	第123回	第124回	第125回	第126回	第127回	第128回	第129回	第130回	第131回	第132回
	種目／開催地													
総 合														
成年男子	フルーレ													
	エ ペ													
	サーブル													
成年女子	フルーレ													
	エ ペ													
	サーブル													
少年男子	フルーレ													
少年女子	フルーレ													

関係機関 連絡先一覧

◆実行委員会事務局

名称	施設住所	電話番号	FAX 番号
SAGA2024 佐賀市実行委員会事務局	佐賀市松原一丁目 3 番 5 号 まるなかビル 4 階	0952-40-7371	0952-20-5008

◆佐賀市公式スーパーアプリ

名称	概要	QRコード
佐賀市公式 スーパーアプリ	SAGA2024 大会期間中、競技のライブ配信やイベントなどの情報を発信します。ダウンロードしてご活用ください。	

◆競技会場

名称	施設住所	電話番号
SAGA サンライズパーク SAGA プラザ	佐賀市日の出一丁目 21 番 15 号	0952-32-2131

◆警察・消防など

分類	名称	電話番号
警察	佐賀北警察署	0952-30-1911
消防・救急	佐賀消防署	0952-30-0111
保健所	佐賀中部保健福祉事務所	0952-30-1321

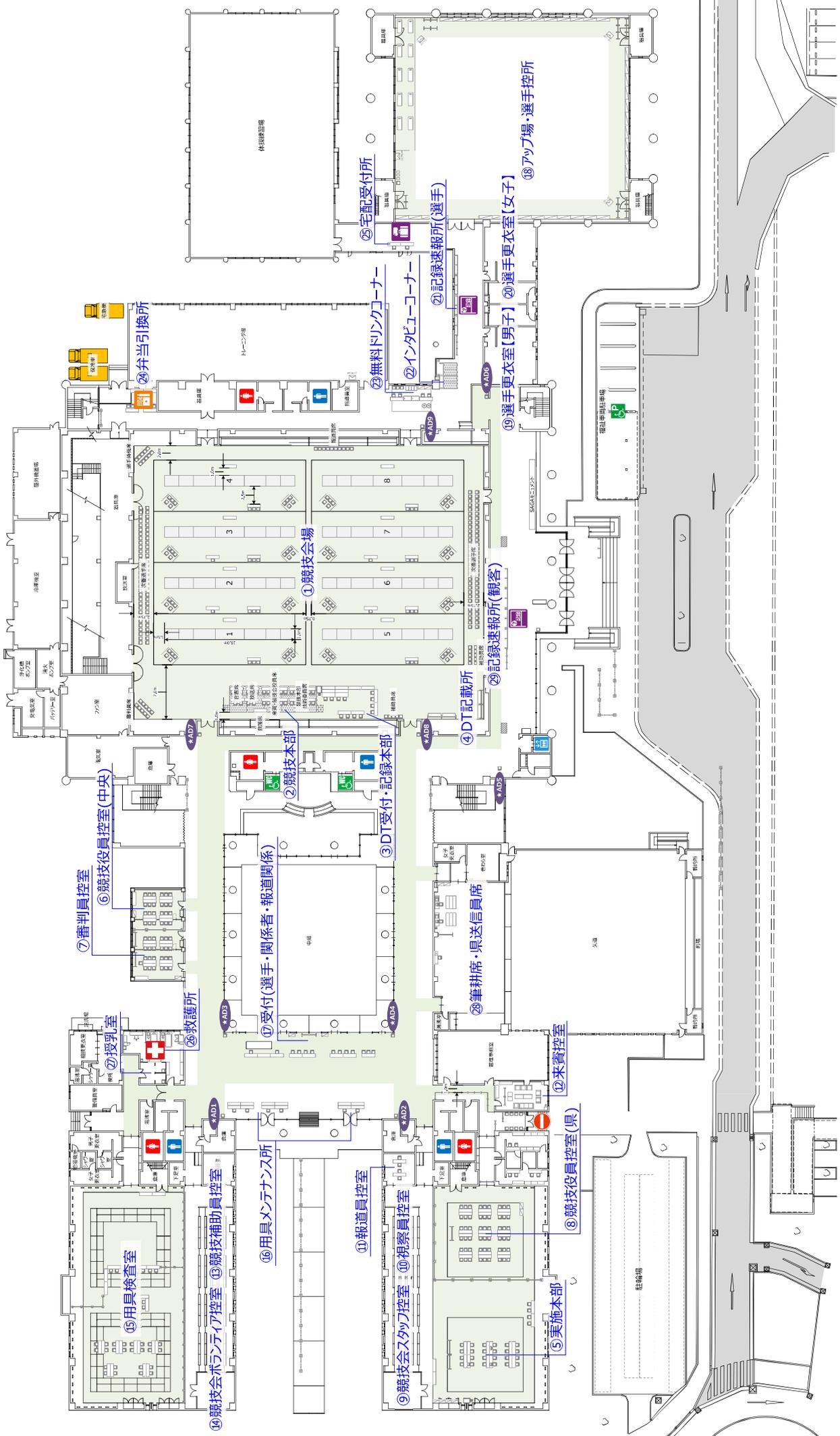
◆救急医療機関

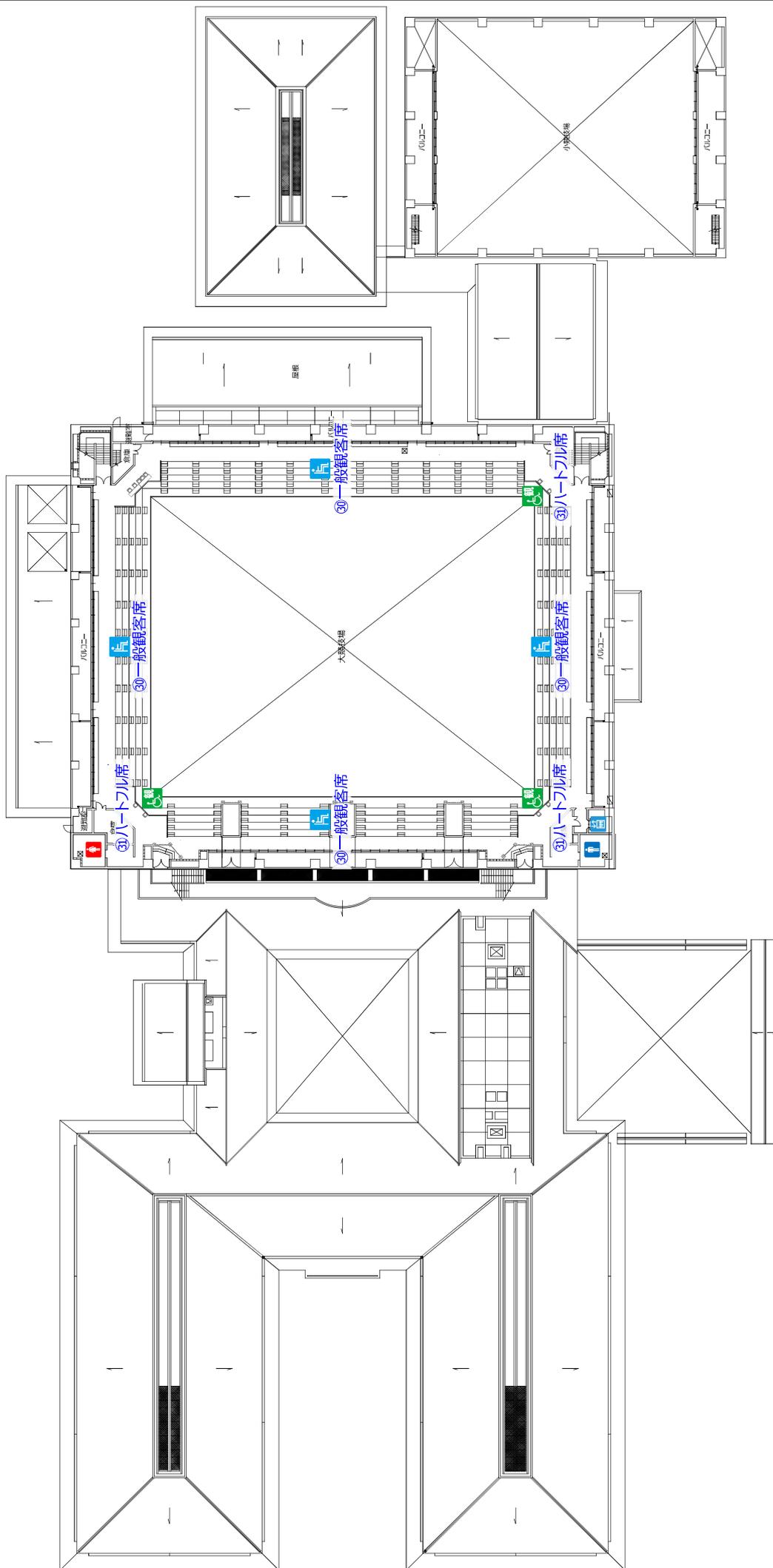
名称	URL	QRコード
医療情報ネット (ナビイ) 佐賀県内の医療機関・ 緊急医療情報等を検索可能	https://www.iryuu.teikyouseido.mhlw.go.jp/znk-web/juminkanja/S2310/initialize?pref=41	

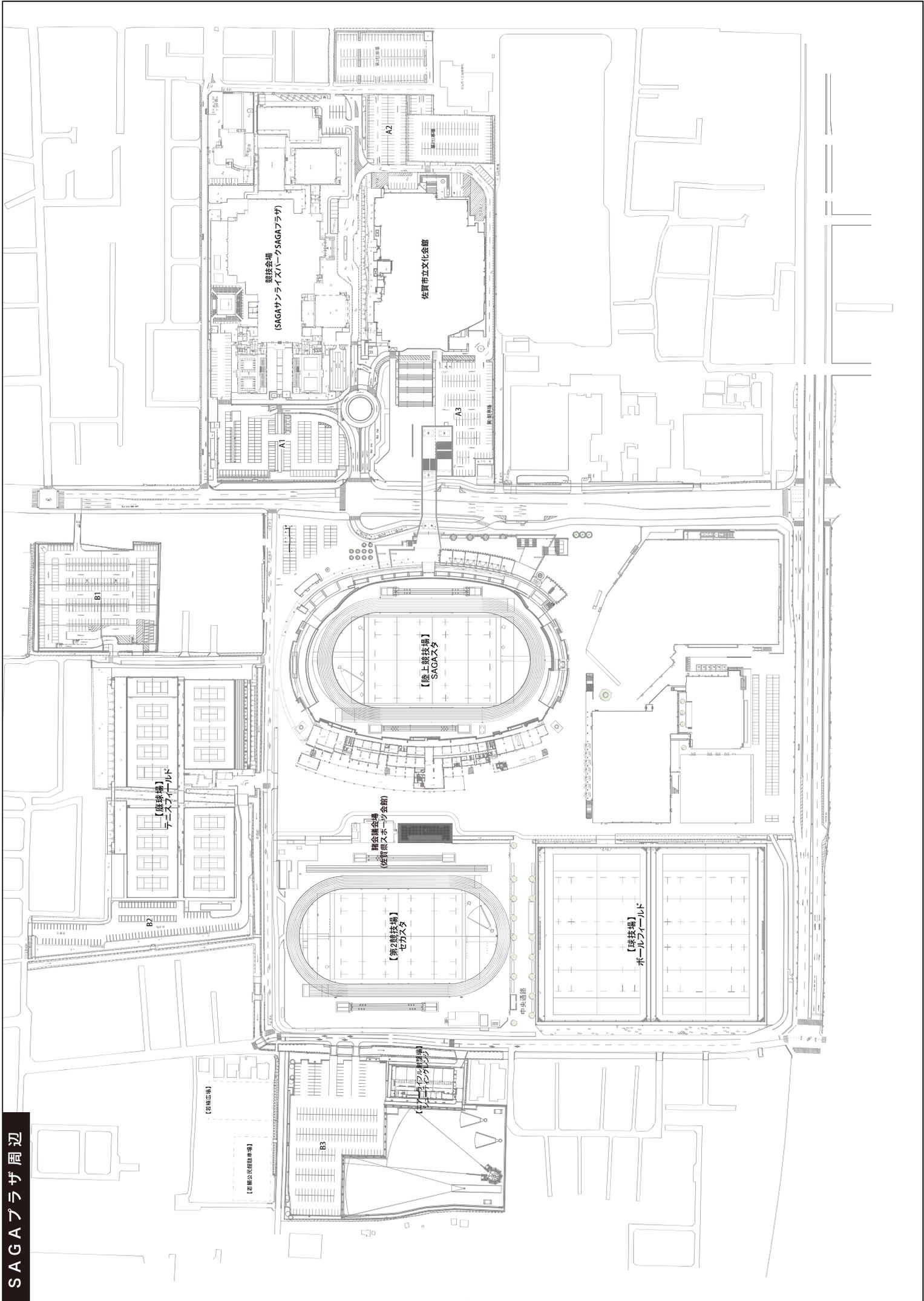
◆輸送センター、配宿センター

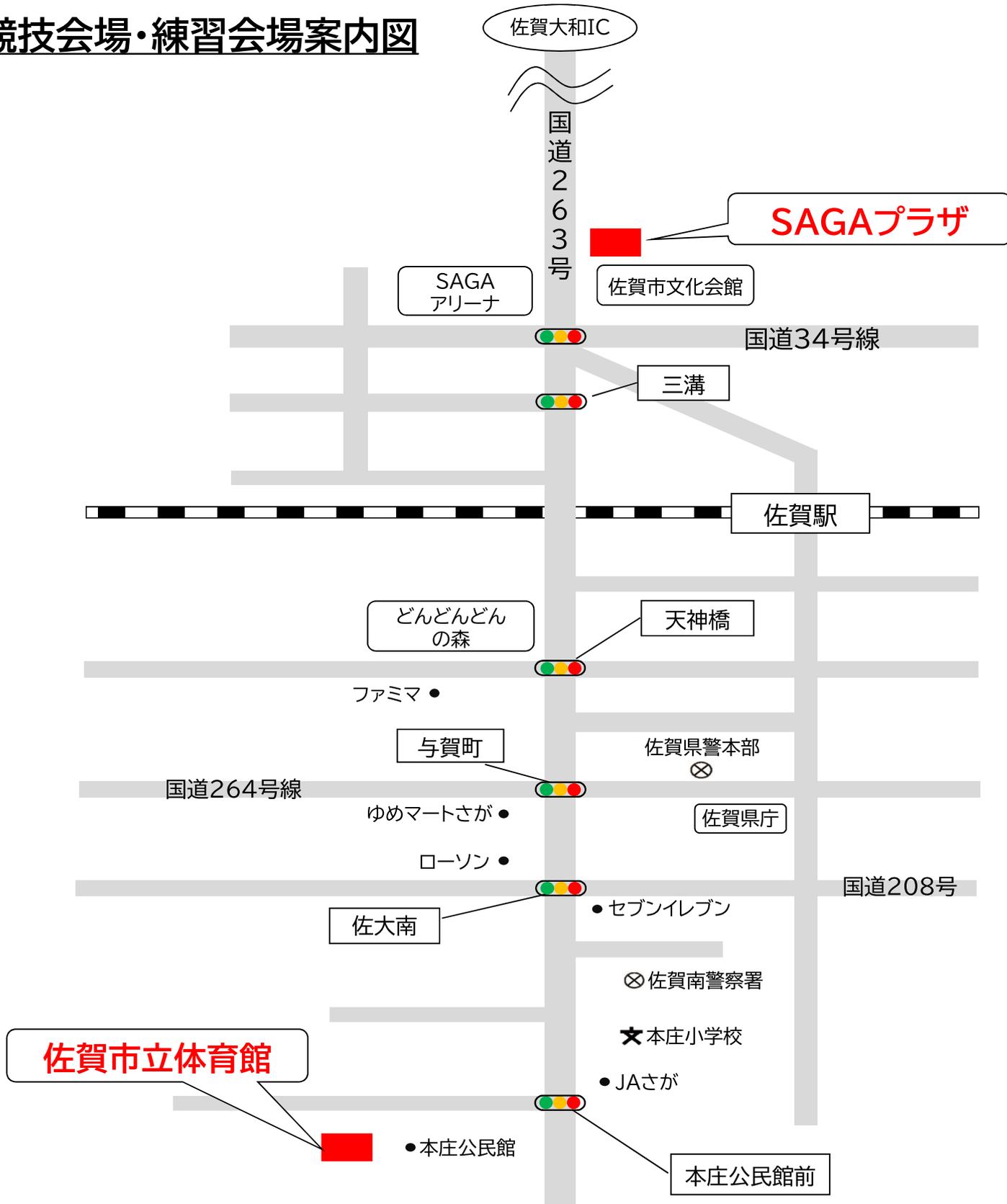
名称	電話番号
SAGA2024国スポ 佐賀市輸送センター	0952-30-1911
SAGA2024国スポ 配宿センター	0952-30-0111

②ゴミ集積所









アクセス

競技会場

SAGAサンライズパークSAGAプラザ

- ◆JR佐賀駅から徒歩で約20分
- ◆佐賀大和ICを降りて、国道263号線を南方向へ約30分

練習会場

佐賀市立体育館(10月6日、7日のみ利用可)

SAGA 2024 国スボ 会場地

全障スボ



玄海町

- 相撲

大町町

- 銃剣道
- ▲ ウォーキング

小城市

- バレーボール
- ハンドボール
- ソフトボール
- ◆ バレーボール 精神

伊万里市

- 水泳(オープンウォータースイミング)
- ホッケー
- バレーボール(ビーチバレーボール)
- 軟式野球
- ◆ フライングディスク 身体 知的

基山町

- 卓球
 - パワーリフティング
 - ▲ 草スキー
 - ◆ 卓球 身体 知的 精神
 - 卓球パレー
- ※サウンドテーブルテニスを含む

多久市

- 弓道
- スポーツクライミング

江北町

- ソフトボール
- ▲ 3B体操

有田町

- ウェイトリフティング
- 軟式野球
- ▲ 皿かぶり競走

唐津市

- バasketボール
- セーリング
- ソフトテニス
- 軟式野球
- バドミントン
- トライアスロン
- 綱引
- ▲ スケートボード
- ▲ 滝登り
- ▲ ユニカール
- ◆ バasketボール 知的
- ◆ 車いすバスケ
- バasketボール 身体
- パラサーフィン

嬉野市

- レスリング
- 軟式野球
- なぎなた
- 武術太極拳
- ▲ スポーツチャンバラ
- ◆ ボッチャ 身体
- 電動車椅子サッカー

鹿島市

- 軟式野球
- アーチェリー
- グラウンド・ゴルフ
- ▲ さわやかグラウンド・ゴルフ
- ▲ バグダー
- ◆ アーチェリー 身体

太良町

- ソフトボール
- ▲ マリンスポーツ
- ◆ ソフトボール 知的

白石町

- ソフトボール
- ▲ ソフトバレーボール
- ◆ グランドソフトボール 身体

武雄市

- 自転車(トラックレース)
- 軟式野球
- ゴルフ
- エアロビック
- ▲ スポーツウエルネス吹矢
- ▲ チャレンジ・ザ・ゲーム
- スポーツウエルネス吹矢

佐賀市

- 陸上競技
- 水泳(競泳、飛込、水球、アーティスティックスイミング)
- サッカー
- テニス
- ローイング
- バレーボール
- 体操(競技、新体操、トランポリン)
- フェンシング
- 柔道
- ライフル射撃(25m)
- ラグビーフットボール
- カヌー(スプリント)
- クレー射撃
- ボウリング
- ▼ 高等学校野球(硬式)
- バウンドテニス
- ▲ 合気道
- ▲ スカットボール
- ▲ パークゴルフ
- ▲ ビリヤード
- ▲ ラダーゲッター
- ▲ ロープ・ジャンプ・X
- ◆ 陸上競技 身体 知的
- ◆ 水泳 身体 知的
- ◆ ボウリング 知的
- ◆ バレーボール 身体
- ウォーキングフットボール
- ソーシャルフットボール

みやき町

- バレーボール
- ソフトボール

神崎市

- ハンドボール
- 剣道
- ▲ いごてだま
- ▲ フライングディスク
- ブラインドテニス

上峰町

- ソフトボール
- ▲ クップ
- ▲ シャッフルボード
- ◆ フットソフトボール 知的
- ふうせんバレーボール

吉野ヶ里町

- バレーボール
- ハンドボール
- ▲ アジャタ

鳥栖市

- サッカー
- バレーボール
- 空手道
- ▼ 高等学校野球(軟式)
- ゲートボール
- ▲ 室内ベタンク
- ▲ スポGOMI
- ▲ ラージボール卓球
- ◆ バレーボール 知的
- ◆ サッカー 知的



- 国スボ 正式競技
- ▲ 国スボ デモンストレーションスポーツ
- ▼ 国スボ 特別競技
- ◆ 全障スボ 正式競技
- 国スボ 公開競技
- 全障スボ オープン競技

県外開催

- 自転車…… 大分県日田市 (ロードレース)
- ライフル射撃…… 大分県由布市 (50m、10m、ビームライフル、ビームピストル)
- 馬術…… 兵庫県三木市
- カヌー(スラローム、ワイルドウォーター)…… 鹿児島県湧水町

SAGA 2024 国スポ 全障スポ

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

競技記録結果

SAGA 2024 国スポ（正式・特別・公開） 競技
結果速報URL

▽PC・スマホURL

<https://kirokukensaku.net/5NS24/index.html>

▽フィーチャーフォンURL

<http://kirokukensaku.net/5NS24/mob/index.html>

▽PC・スマホ
QRコード



▽フィーチャーフォン
QRコード



SAGA2024佐賀市実行委員会